



世界 400 地区以上にわたる共同プロジェクト

*2018-22*

パートⅡ



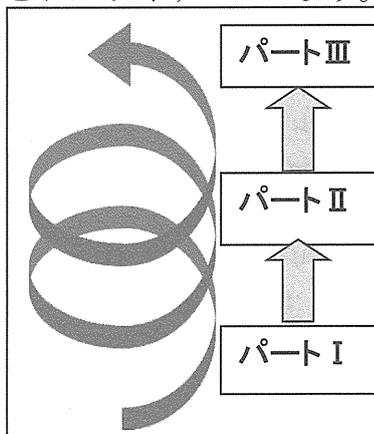
## カリキュラムのスパイラル（らせん的）展開について

RLI 日本支部 カリキュラム委員会  
2018-2022年度 副委員長 本田 博己

RLI テキストの 2012-2015 年 (RLI 創立 20 周年記念) 版では、「カリキュラム・スパイラル」という体系に各セッションが位置づけられていることがその最大の特長でした。

今回の最新版 (2018-2022 年版) では、カリキュラム・スパイラルの図は明示されていませんが、カリキュラム構成に大きな変更はなく、このスパイラルの構造は保たれています。

「スパイラル」の原語 “Spiral” には、「らせん (渦巻き) 状のもの」という語義があります。「RLI のカリキュラム・スパイラル」は、らせん階段に例えるとうわかりやすいでしょう。



らせん階段は、昇ってくる人を真上から見ると、円運動を繰り返しているだけですが、同じらせん階段を真横から見ると、人は1階から2階、2階から3階へとフロアを上がってきます。

今回のテキストは、1階 (パートⅠ) では、私たちロータリアン一人一人が学ぶべきテーマが各セッションのテーマとなっています。

2階 (パートⅡ) では、私たちの所属するロータリークラブが、より効果的クラブに成長するための課題が各セッションのテーマとなっています。

そして、3階 (パートⅢ) は、「私のロータリーの旅」“My Rotary Journey”とタイトルが付いているように、パートⅠとパートⅡでの学びを基に、より幅広く奥深いロータリーの世界を学ぶ「旅」となっています。そのゴール (目的地) は、私たち一人一人の、ロータリアンとしての成長とロータリー観の確立です。

「カリキュラム・スパイラル」のもう一つの特長は、カリキュラムが3つの大きな「スパイラル」の柱で構成されていることです。すなわち、「リーダーシップ」“Leadership”、「奉仕」“Service”、「会員組織強化」“Membership”の3本柱です。“Membership”は、狭義の「会員増強」(会員を増やすこと)だけでなく、会員自身やクラブ組織が成長・強化してゆくための「会員組織」の諸要素を示しています。パートⅠからパートⅢまでのすべてのセッションは、この3つの「スパイラル」の柱のどれかに含まれています。

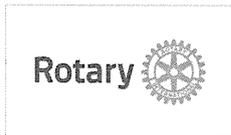
RLI セミナーに参加される皆様が、このように構造的・体系的に構成されたテキストの「カリキュラム・スパイラル」の展開の流れを意識しながらコースに取り組んでいただければ、より一層ロータリー理解が進むに違いありません。

# RLI カリキュラムのスパイラル（らせんの展開）

## ロータリアンとしての成長 と ロータリー観の確立



## RLI パートⅡ ー クラブ 目 次



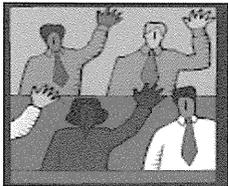
1 ロータリーの機会 (Rotary Opportunity) ..... 56  
ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができるでしょう。



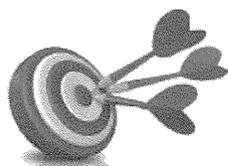
2 効果的なリーダーシップ戦略 (Effective Leadership Strategies) ..... 63  
ロータリーの旅を進めるとき、私は複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方に引き込まれ、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしよう。



3 会員を勧誘する (Attracting Membership) ..... 67  
あなたのクラブの地域社会における特有の地位や新会員を引付けるクラブ会員の質を再検討し、促進します。  
最良のメンバーと一緒に仕事がしたい。



4 チーム作り (Team Building) とクラブコミュニケーション (Club Communication) ..... 71  
私たちの奉仕の目標達成のために、効果的でモチベーションの高いグループに対して私たちのクラブとの協働を促進することができます。ロータリーとロータリアンの本当のパワーを活用しましょう。  
クラブの内外の聴衆に対する効果的なコミュニケーションを促進します。あなたの技能に磨きを掛けてください。



5 ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕 (Targeted Service) ..... 80  
ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することができます。財団のプログラムの重要な概念を理解しましょう。



6 米山記念奨学事業 (Rotary Yoneyama Memorial Foundation) ..... 88  
ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学ぶセクションです。

## 1 ロータリーの機会

ロータリーの旅を進めるとき、個人や地域社会、あるいは職業上の成長や発展のために、ロータリーの中の利用できる多くの機会を探求することができますでしょう。



### セッションの目標

- 国際ロータリーのプログラムのあらましを提供します。
- 世界ネットワーク活動グループ（ロータリアン行動グループ、ロータリー親睦活動グループ）は私たちにどのようなメリットがあるでしょうか。
- それぞれのプログラムとロータリーの目標との関係およびそれぞれのプログラムとロータリアンのロータリーにおける経験との関係について議論する。

すべてのセッション資料は [www.rlifiles.com](http://www.rlifiles.com) 上から利用できます。

### セッションの話題

国際ロータリーのプログラムとは何でしょうか？次ページのロゴを参考に議論して下さい。

- a) ロータリークラブはこのプログラムをどのように利用することができますか？  
これらのプログラムに参加するためには、クラブは何をしますか？
- b) あなたの地区はプログラムへの参加を奨励していますか？あるいは全地区であるいは複数クラブ合同でそれに参加することを奨励していますか？
- c) これらのプログラムにあなたやあなたのクラブは参加していますか？
- d) あなたやあなたのクラブはこのプログラムに、どのように参加することができますか？

ロータリー活動を示す  
様々なロゴ

**Interact**  
Rotary Sponsored Club



**Rotaract**  
Rotary Club Partner



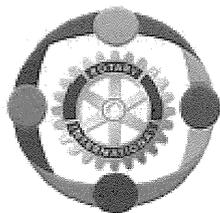
**Rotary**  
Community Corps



**Rotary**  
Youth Exchange



**Rotary** | **RYLA**



- e) これらの国際ロータリーのプログラムについて、「ロータリーの使命」にどのように適合しているか議論してください。

### ロータリー親睦活動(資料:ロータリーの機会②)

- 1) 「ロータリー親睦活動(グループ)」とは何でしょうか?

共通の趣味・スポーツ、職業、職業に関連した趣味を土台としたロータリーメンバーの集まり。

- a) ロータリーはこれらの組織をどのように評価し、また支援していますか?  
b) これらのグループはどのように活動しているのでしょうか?  
c) これらのグループの活動領域はどのようなもののでしょうか?それは活動にどれくらい影響を与えますか?

- 2) 「ロータリー親睦活動(グループ)」はクラブ奉仕の価値を損なうことはありませんか?

- 3) 「ロータリー親睦活動(グループ)」への参加することは、会員維持に繋がりますか?

### ロータリアン行動グループ

(資料:ロータリーの機会③、④)

- 1) 「ロータリアン行動グループ」とは何でしょうか?

- 2) 「ロータリアン行動グループ」への参加によって、地域の奉仕プロジェクトや国際奉仕プロジェクトは支援を受けますか?

- 3) その代表的なプロジェクトと思われるものについて議論して下さい。

- 4) ロータリアンがこれらの活動に参加することによって得るものは何でしょうか?  
そして、彼等はロータリーの使命を推進しますか?

### その他

- 1) これらのグループの一つに加入してはいかがでしょうか?  
2) 新しい5つの親睦活動や行動グループを提案してください。  
3) これらのグループはどのようにロータリーを向上させることができますでしょうか?

## 資料：ロータリーの機会① 国際ロータリーのプログラム

国際ロータリーのプログラムと奉仕の機会については、下記にリストアップされています。それらは、ロータリアンが自分自身の地元社会のニーズを知るため、さらに、世界規模で人々を支援するための助けとなるように作られています。

世界ネットワークグループは「ロータリー親睦活動（職業的又はレクリエーションに関心のあるグループ）」と「ロータリアン行動グループ（奉仕活動に焦点を当てたグループ）」からなっている。90以上の世界ネットワークグループがすべてのロータリアンやロータリアンの夫婦やローターアクターのために用意されている。

インターアクトは12～18歳の青少年のために、ロータリークラブによって結成され、提唱されている奉仕組織です。121カ国に10,900以上のクラブがあります。

ローターアクトはロータリークラブによって提唱され、18～30歳までの若者にリーダーシップと専門的職業技能と奉任意欲を高めることを目的としています。162カ国に7,000以上のクラブがあります。

ロータリー地域社会共同隊 (RCC)は地元地域社会の生活の質を向上するために活動する、ロータリアンではないグループです。90カ国に8,500以上のRCCがあり、ロータリークラブによって結成され、提唱されています。

ロータリー友情交換はロータリアンとその家族が、他の国へ相互の訪問をし、お互いの家庭に滞在し、直に違った文化を学ぶことを奨励しています。

ロータリー・ボランティア (2011年6月30日をもって廃止)

ロータリー青少年交換は15～19歳までの青少年に一週間から1学年度までの範囲で文化交流するために海外で研修ないしは留学する機会を提供します。ロータリークラブと地区は毎年、約9,000人以上の青少年を提唱し、受け入れをしています。

ロータリー青少年指導者養成プログラム (RYLA)は14歳以上の若い人に指導者としての資質を認め、また伸ばすために、クラブと地区によって提唱されるセミナーです。

世界社会奉仕 (WCS) (2011年6月30日をもって廃止)

※訳者注 世界社会奉仕 (WCS)とロータリー・ボランティア・プログラムが2011年6月30日をもって廃止されました (RIの常設プログラムではなくなった)。戦略計画の優先項目と目標を促進するために「リソースとサポートのモデル」への転換をRI理事会が承認したことを受け、現在はクラブ同士の結びつきと協力を促すリソースの拡大を目指して、新しいモデルに移行しています。

## 資料：ロータリーの機会② ロータリー親睦活動一覧表

最新のロータリー親睦活動の情報、役員、ミッションは下記HPを参照ください。：

[http://www.rotary.org/RIdocuments/ja\\_pdf/729ja.pdf](http://www.rotary.org/RIdocuments/ja_pdf/729ja.pdf)

Amateur Radio (アマチュア無線)	<a href="http://www.ifroar.org">www.ifroar.org</a>	Italian Culture (イタリア文化)	<a href="http://www.icwrf.org">www.icwrf.org</a>
Antique Automobiles (アンティーク自動車)	<a href="http://www.achafr.eu">www.achafr.eu</a>	Jazz (ジャズ)	<a href="http://www.rotaryjazz.com">www.rotaryjazz.com</a>
Authors and Writers (作家と著者)	<a href="http://www.authorsandwriter.org">www.authorsandwriter.org</a>	Latin Culture (ラテン文化)	<a href="http://www.rotarioslatinos.org">www.rotarioslatinos.org</a>
Beer (ビール)	sRIF.org	Lawyers (弁護士)	<a href="http://rotarianlawyersfellowship.org">rotarianlawyersfellowship.org</a>
Bird Watching (バードウォッチング)	<a href="http://www.ifbr.org">www.ifbr.org</a>	License Plate Collecting (ナンバープレート収集)	<a href="mailto:mccrotts@crottsandsaunders.com">mccrotts@crottsandsaunders.com</a>
Bowling (ボーリング)		Literacy Providers (識字向上推進者)	<a href="http://www.literacyproviders.org">www.literacyproviders.org</a>
Bridge (ブリッジ)	<a href="http://www.ifbpr.org">www.ifbpr.org</a>	Magicians (手品師)	<a href="http://rotarianmagician.org">rotarianmagician.org</a>
Canoeing (カヌー)	<a href="http://sites.google.com/site/canoeingrotarians">sites.google.com/site/canoeingrotarians</a>	Magna Graecia (マグナグラエシア)	<a href="http://fellowshipmagnagraecia.org">fellowshipmagnagraecia.org</a>
Caravanning (キャラバン式旅行)	<a href="http://rotarianscaravanning.org.uk">rotarianscaravanning.org.uk</a>	Marathon Running (マラソン・ランナー)	<a href="http://www.rotarianrun.org">www.rotarianrun.org</a>
Carnival, Parades & Festivals (カーニバル、パレード、祭典)	<a href="http://www.ifcpf.org">www.ifcpf.org</a>	Motorcycling (バイク愛好家)	<a href="http://www.ifmr.org">www.ifmr.org</a>
Chess (チェス)	<a href="http://www3.sympatico.ca/brian.clark">www3.sympatico.ca/brian.clark</a>	Music (音楽)	<a href="http://www.ifrm.org">www.ifrm.org</a>
Computer Users (コンピューター・ユーザー)	<a href="http://www.icufr.org">www.icufr.org</a>	Old and Rare Books (希少古本)	<a href="http://www.rotaryoldbooks.org">www.rotaryoldbooks.org</a>
Cooking (料理)		Past District Governor (パストガバナー)	
Convention Goers (国際大会参加者)	<a href="http://www.conventiongoers.org">www.conventiongoers.org</a>	Photographers (写真)	<a href="http://www.photofellowship.org">www.photofellowship.org</a>
Cricket (クリケット愛好家)	<a href="http://www.rotarycricket.org">www.rotarycricket.org</a>	Police and Law Enforcement (警察関係)	<a href="http://www.polepfr.org">www.polepfr.org</a>
Crusing (クルージング)		Pre-Columbian Civilizations (コロンブス到来以前の文明)	<a href="mailto:jaime.jimenez.castro@gmail.com">jaime.jimenez.castro@gmail.com</a>
Curling (カーリング)	<a href="http://www.curlingrotarians.com">www.curlingrotarians.com</a>	Quilters and Fiber Artists (キルトおよび織物手芸家)	<a href="http://www.rotariansquilt.org">www.rotariansquilt.org</a>
Cycling (サイクリング)	<a href="http://www.cycling2serve.org">www.cycling2serve.org</a>	Railroads (鉄道)	<a href="http://www.ifrr.info">www.ifrr.info</a>
Doctors (医師)	<a href="http://www.rotariandoctors.org">www.rotariandoctors.org</a>	Recreational Vehicles (キャンピング・カー)	<a href="http://www.rvfweb.org">www.rvfweb.org</a>
Doll Lovers (人形愛好家)	<a href="http://www.rotarydlf.org">www.rotarydlf.org</a>	Rotary Global History (ロータリー世界史)	<a href="http://www.rotaryhistoryfellowship.org">www.rotaryhistoryfellowship.org</a>
E-Clubs (Eクラブ)		Rotary Heritage and History (ロータリー歴史と伝統の会)	<a href="http://rotaryhistoryfellowship.org/fellowship">rotaryhistoryfellowship.org/fellowship</a>
Editors and Publishers (編集者・出版者)	<a href="http://www.ifrep.org">www.ifrep.org</a>	Rotary on Stamps (ロータリーの切手収集)	<a href="http://www.rotaryonstamps.org">www.rotaryonstamps.org</a>
Environment (環境)	<a href="http://www.envirorotarians.org">www.envirorotarians.org</a>	Scouting (スカウト)	<a href="http://www.ifsr-net.org">www.ifsr-net.org</a>
Esperanto (エスペラント語)	<a href="http://www.radesperanto.org">www.radesperanto.org</a>	Scuba Diving (スキューバダイビング)	<a href="http://www.ifrsd.org">www.ifrsd.org</a>
Fine Arts and Antiques (美術と骨董品)	<a href="http://espanol.groups.yahoo.com/group/AGRUPACIONBAA">espanol.groups.yahoo.com/group/AGRUPACIONBAA</a>	Shooting Sports (射撃スポーツ)	<a href="http://www.rotaryclayshoot.com">www.rotaryclayshoot.com</a>
Fishing (釣り)	<a href="http://www.fishrotary.org">www.fishrotary.org</a>	Singles (シングルス)	<a href="http://www.rsinternational.org">www.rsinternational.org</a>
Flying (飛行)	<a href="http://www.iffr.org">www.iffr.org</a>	Skiing (スキー)	<a href="http://www.isfrski.org">www.isfrski.org</a>
Geocaching (宝探し)		Social Networking (ソーシャル・ネットワーキング)	<a href="http://www.rosnf.net">www.rosnf.net</a>
Go	<a href="http://www.gpfr.jp">www.gpfr.jp</a>	Tennis (テニス)	<a href="http://www.itfr.org">www.itfr.org</a>
Golf (ゴルフ)	<a href="http://www.igfr-international.com">www.igfr-international.com</a>	Total Quality Management (総合品質管理)	<a href="http://www.rotarytqm.it">www.rotarytqm.it</a>
Home Exchange (住まい交換)	<a href="http://rotarianhomeexchange.com">rotarianhomeexchange.com</a>	Travel Agents (旅行代理業)	<a href="http://www.rotarytravelfellowship.org">www.rotarytravelfellowship.org</a>
Honorary Consuls (名誉領事)	<a href="mailto:franz.gillieron@highspeed.ch">franz.gillieron@highspeed.ch</a>	Travel and Hosting (旅行と歓待)	<a href="http://www.ithf.org">www.ithf.org</a>
Horseback Riding (乗馬)		Wellness and Fitness (健康とフィットネス)	<a href="mailto:kappenberger@gmail.com">kappenberger@gmail.com</a>
Internet (インターネット)	<a href="http://www.roti.org">www.roti.org</a>	Wine (ワイン)	<a href="http://www.rotarywine.net">www.rotarywine.net</a>
		Yachting (ヨット)	<a href="http://www.iyfr.net">www.iyfr.net</a>

## 資料：ロータリーの機会③ ロータリアン行動グループ

ロータリアン行動グループについての最新の情報、連絡先、役員、およびミッションは下記のHPを参照ください。：

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/document/714>

Alzheimer's/Dementia (アルツハイマー/認知症)	<a href="http://www.adrag.org">http://www.adrag.org</a>
Blindness Prevention (失明予防)	<a href="http://www.rag4bp.org">http://www.rag4bp.org</a>
Blood Donation (献血)	<a href="http://www.ourblooddrive.org">http://www.ourblooddrive.org</a>
Child Slavery (児童労働虐待、児童奴隷)	<a href="http://www.roisight.org/cs/">http://www.roisight.org/cs/</a>
Dental Volunteers (歯科ボランティア)	<a href="http://www.ragdv.com">http://www.ragdv.com</a>
Diabetes (糖尿病)	<a href="http://www.ragdiabetes.org">http://www.ragdiabetes.org</a>
Disaster Assistance (災害援助)	<a href="mailto:barry@rassin.org">barry@rassin.org</a>
Endangered Species (絶滅危惧種)	<a href="http://www.endangeredrag.org">http://www.endangeredrag.org</a>
Family Health & Aids Prevention (家族の健康とエイズ予防)	<a href="http://www.rffa.org">http://www.rffa.org</a>
Food and Plant Solutions (食物栽培の手法)	<a href="http://www.foodplantsolutions.org">http://www.foodplantsolutions.org</a>
Health Fairs (保健フェア)	<a href="http://www.worldhealthfairs.org">http://www.worldhealthfairs.org</a>
Hearing (聴覚)	<a href="http://ifrahl.org">http://ifrahl.org</a>
Hunger and Malnutrition (飢餓・栄養失調)	<a href="http://www.alleviatehunger.org">http://www.alleviatehunger.org</a>
Literacy (識字)	<a href="http://www.litrag.net">http://www.litrag.net</a>
Malaria (マラリア)	<a href="http://www.remarag.org">http://www.remarag.org</a>
Microfinance and Community Development (小口金融と社会発展)	<a href="http://www.ragm.rotaryglobal.net/">http://www.ragm.rotaryglobal.net/</a>
Multiple Sclerosis (多発性硬化症)	<a href="http://www.rotary-rfmsa.org">http://www.rotary-rfmsa.org</a>
Peace (平和)	<a href="http://www.rotarianactiongroupforpeace.org">http://www.rotarianactiongroupforpeace.org</a>
Polio Survivors and Associates (元ポリオ患者)	<a href="http://www.rotarypoliosurvivors.com">http://www.rotarypoliosurvivors.com</a>
Population Growth & Sustainable Development (人口増加および持続的開発)	<a href="http://www.rifpd.org">http://www.rifpd.org</a>
Preconception Care (プリコンセプションケア、妊娠の準備)	<a href="mailto:knijff44@gmail.com">knijff44@gmail.com</a>
Water and Sanitation (水と衛生)	<a href="http://www.wasrag.org">http://www.wasrag.org</a>

## 資料：ロータリーの機会④



# ロータリアン行動グループ

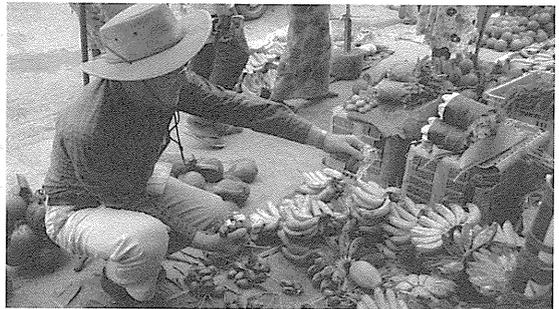
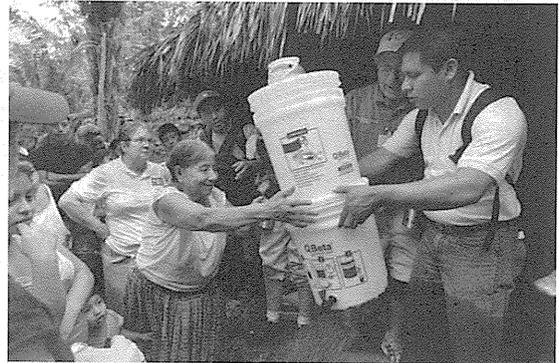
「ロータリアン行動グループ」は、特定の奉仕分野に関する専門知識と熱意を持ったロータリアンとその家族、ローターアクターによって組織されています。各グループは、ロータリークラブと地区が地域社会の発展や人道的奉仕のプロジェクトを計画し、実施する上での支援を提供しています。

### ロータリアン行動グループのしくみ

- グループ独自の規定、会費、管理体制を持ち、国際ロータリーとは独立して運営されます。
- ロータリアン行動グループのメンバーとなれるのは、ロータリアンとその家族、および、国際ロータリーまたはロータリー財団のプログラムの参加者／元参加者です。
- 国際ロータリーが定めた標準細則を採択し、ロータリーの方針に沿って運営されなければなりません。
- それぞれに専門の分野で、奉仕プロジェクトを行うクラブや地区に協力します。
- クラブや地区が、奉仕プロジェクトにおいて資金やリソースを確保するのを助けることができます。

### ロータリアン行動グループに参加するメリット

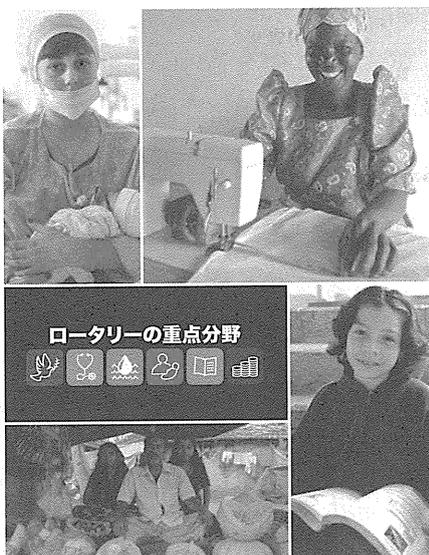
- グループのメンバーは、クラブ、地区、国を超えて、同じ志を抱くロータリアンと協力しながら意義ある奉仕活動に参加します。
- ロータリークラブや地区は、行動グループとの協力を通じて、奉仕プロジェクトの計画や実施に関する専門的なサポートを受けられます。



行動する: [www.rotary.org/ja/actiongroups](http://www.rotary.org/ja/actiongroups)

## ロータリアン行動グループ

特定の奉仕分野に関心のある方、また専門知識や経験をお持ちの方は、それぞれのロータリアン行動グループのウェブサイト  
で詳細をご覧ください。



### 新しいグループを結成するには？

関心のある奉仕分野の行動グループが存在せず、新しいグループを結成したいとお考えの場合は、結成に関する詳しい情報をロータリー職員にお問い合わせください（Eメール [actiongroups@rotary.org](mailto:actiongroups@rotary.org)）。すべてのグループは RI理事会の承認を受ける必要があります。

### ロータリアン行動グループの活動例

- 人口と開発に関するロータリアン行動グループは、ドイツ、オーストリア、ナイジェリアのロータリークラブと協力し、ナイジェリアの農村地域にある病院で、新生児と母親の死亡率を減らすプロジェクトを実施しました。
- エイズと家族の健康のためのロータリアン行動グループは、毎年アフリカで保健イベントを開催し、多くの住民を対象にHIV検査とカウンセリングも行っています。
- 小口融資と地域発展のためのロータリアン行動グループは、クラブや地区と小口融資金融機関とを結びつけ、貧しい人々が収入を得るための仕事や活動をできるよう支援しています。

薬物中毒防止	<a href="http://www.rag-ap.org">www.rag-ap.org</a>
エイズと家族の健康	<a href="http://www.rfha.org">www.rfha.org</a>
アルツハイマーと認知症	<a href="http://adrag.org/">http://adrag.org/</a>
失明予防	<a href="http://www.rag4bp.org">www.rag4bp.org</a>
献血	<a href="http://www.ourblooddrive.org">www.ourblooddrive.org</a>
児童労働虐待	<a href="http://www.racsrag.org">www.racsrag.org</a>
内反足治療	<a href="http://www.rag4clubfoot.org">www.rag4clubfoot.org</a>
糖尿病	<a href="http://www.ragdiabetes.org">www.ragdiabetes.org</a>
災害支援	<a href="http://www.dna-rag.com">www.dna-rag.com</a>
家庭内暴力の防止	<a href="http://www.ragfamsafe.org">www.ragfamsafe.org</a>
絶滅危惧種	<a href="http://www.endangeredrag.org">www.endangeredrag.org</a>
環境持続可能性	<a href="http://www.esrag.org">www.esrag.org</a>
食用植物の栽培	<a href="http://foodplantsolutions.org">http://foodplantsolutions.org</a>
保健教育と健康	<a href="http://www.hewrag.org">www.hewrag.org</a>
聴覚	<a href="http://www.ifrahl.org">www.ifrahl.org</a>
肝炎撲滅	<a href="https://ragforhepatitiseradication.org">https://ragforhepatitiseradication.org</a>
識字	<a href="http://www.litrag.org">www.litrag.org</a>
マラリア	<a href="http://www.remarag.org">www.remarag.org</a>
メンタルヘルス	<a href="http://ragonmentalhealth.org">http://ragonmentalhealth.org</a>
小口融資と地域発展	<a href="http://ragm.org">http://ragm.org</a>
多発性硬化症	<a href="http://www.rotary-rfmsa.org">www.rotary-rfmsa.org</a>
平和	<a href="http://www.rotarianactiongroupforpeace.org">www.rotarianactiongroupforpeace.org</a>
ポリオ経験者	<a href="http://www.rotarypoliosurvivors.com">www.rotarypoliosurvivors.com</a>
人口と開発	<a href="http://www.rifpd.org">www.rifpd.org</a>
妊娠前のケア	<a href="http://www.raghphc.org">www.raghphc.org</a>
水と衛生	<a href="http://www.wasrag.org">www.wasrag.org</a>

### リソース

- ロータリーの重点分野ガイド  
[www.rotary.org/myrotary/ja/document/589](http://www.rotary.org/myrotary/ja/document/589)
- ロータリアン行動グループ一覧  
[www.rotary.org/myrotary/en/document/714](http://www.rotary.org/myrotary/en/document/714)
- ロータリアン行動グループ年次報告  
[www.rotary.org/myrotary/en/document/713](http://www.rotary.org/myrotary/en/document/713)
- 地域調査の方法  
[www.rotary.org/myrotary/ja/document/578](http://www.rotary.org/myrotary/ja/document/578)
- プロジェクトの流れ(ライフサイクル)  
[www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/development-projects/lifecycle-project](http://www.rotary.org/myrotary/ja/take-action/development-projects/lifecycle-project)

### お問い合わせ

[actiongroups@rotary.org](mailto:actiongroups@rotary.org)

JA—(1117)

## 2 効果的なリーダーシップ戦略

ロータリーの旅を進めるとき、私は私自身のリーダーシップスタイルを考察し、複雑で熟練したリーダーシップ技術の使い方を実践し、そしてリーダーシップの機会をしっかりと身につけることでしよう。



### セッションの目標

- パートⅠ及びⅡで学んだ「リーダーシップ」、「チーム作り」と「クラブコミュニケーション」に対する洞察力の上に構築する。
- グループの中での指導力やコミュニケーション能力を向上させる。
- 我々の目標や提案に対する支援を得る方法を確認する。

### セッションの話題

- 1) あなたのロータリークラブにおいてプロジェクトの承認を得るための練習。  
添付の効果的なリーダーシップ戦略シナリオ（資料：効果的なリーダーシップ戦略①  
効果的なリーダーシップ戦略シナリオ）を参照。
  - a) あなたの戦略を展開してください。どこから始めますか？
  - b) プロジェクトにおける連携をどのように構築しますか？
    - i) 連携とはどのようなもののでしょうか？
    - ii) 連携を構築することは社会の経験の中でどのように働きますか？  
たとえば、仕事上の提案、地域社会のプロジェクト、政治問題や選挙の立候補に対する支援を得ようとする時などの連携です。
  - c) プロジェクトの支援を得るために、クラブ理事会に対して一席弁じる練習をしてください。



2) なぜ、ある人が「影響力」があり、他の人はないのでしょうか？

a) カリスマ性は大切ですか？—— それはいったい何でしょうか？

b) たとえば、「ボス」、「クラブ会長」、「ボランティア」と言った「肩書き」は影響力がありますか？

3) どのようなリーダーシップの特質（癖）がそのプロジェクト成功や懸命な努力の成果の足かせとなりますか？

また、どうしたらこのような特質（癖）を避けることができますか？

あなたなら、そうすべきと思いますか？

4) 混乱したロータリークラブについてのシナリオ。

資料：効果的なリーダーシップ戦略① 効果的なリーダーシップ戦略シナリオ、シナリオ2を参照。

a) このクラブの真の問題は、もしあるとすれば、何でしょうか？

b) このような場合、リーダーシップは解決のために、どう役立つでしょうか？

c) あなたなら、どんなリーダーシップ戦略を提案しますか？

5) 質問とコメント

## 資料：効果的なリーダーシップ戦略① 効果的なリーダーシップ戦略シナリオ シナリオ1

ロータリークラブの副会長 マルビン・モントロース (Marvine Montrose) はクラブの25名の会員に、美術工芸展を開催することを提案しています。最近の記憶では、その町にそのような展示会はありませんでした。彼は、その作品を展示して、作品を即売する目的で、その地域で手工芸をする人を招待したいと思っています。彼はまた、画家にも同じような事をする目的で、招待したいと思っています。

彼は出展者に、ディスプレイ・テーブルの料金を請求しようと思えばできます。

また、お金を稼ぐために、クラブ会員がソーダ水を買ったり、プレッツェル<sup>※</sup> (※ねじ巻き形で塩味のビスケット) を販売することもできるでしょう。

展示会の場所は、町の中心地にある町営の公園を予定していました。そこは基本的に草の生えた原っぱです。すべての会員にそのイベントにお手伝いをしてもらう必要がありました。1500名ほどの町では、クラブは今までそのような大きなイベントはしたことがありませんでした。

マルビンはクラブ委員会は「詳細」を詰めることができるだろうと言っています。

問題は何でしょうか？計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。

どうしたら彼らの計画に承諾がえられるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

## シナリオ2

ミルトン・クロッシング (Milton Crossing) ロータリークラブはメンバーの中に数名の活動的な会員がいます。しかし、ほとんどの会員は、無関心です。彼らは昼食を食べに来るだけで、しばしば卓話プログラムが始まる前に退席し、他に何も活動はしません。

会員数は33名。3年前の62名から減少しています。

2、3の活動的な会員はクラブを維持しようとしています。彼らもクラブ活動にもう疲れてきている。

Myron 会長は理事会のメンバーと会談し、理事会はいくつかの問題をリストアップしました。

- (1) 例会でいつも一緒に座り、他の会員を無視するエリート主義者がいる。彼らと一緒に座りたいと思う人はすっかり暗然たる気持ちになってしまいます。
- (2) 不活発な会員の何名かは大風呂敷であるが、何かするように頼まれると、途端に消え失せてしまいます。
- (3) ある会員はもう何カ月もの間、例会に出てきません。しかし、クラブは、もし出席をうるさく催促すると、退会するのではと恐れています。
- (4) ある会員は大きな声でこう発言します。：『私たちはもうこれ以上の会員は必要ない。私たちは現在、楽しい親しいグループだ。これ以上の他の会員が入会するとそれが乱されます。』
- (5) 二人の会員が新しい会員をスポンサーするように頼まれた時、彼らは次のように言い返しました。：『私たちは質の良い会員のみを求めています。とても用心深くなければなりません。』
- (6) 会長は、「私は委員会のメンバーを埋めることに苦労しています。というのは、ほとんどの人が仕事が忙しくて、参加できないと言うからです」と発言しました。

問題は何でしょうか？計画を立案し、グループでどのような結論になったかを議論します。

どうしたら彼らの計画の承諾が得られるのか、そして、どうしたらそれがクラブによって実施されるかを議論します。

## 資料：効果的なリーダーシップ戦略② 合意（コンセンサスの）形成

### 合意（コンセンサスの）形成

コンセンサスを形成することは、特に、違った観点を持っている人たちの間では、全員のニーズを満足させる解決を見つけようとする行動です。：それは妥協や強制による放棄を意味するものではありません。他人を合意（コンセンサス）に導くことは、結果的に、実行可能で持続可能な決定になります。

#### 話のポイント

- ・コンセンサスを定義し、あなたが他人をまとめなければならなかった時の話を共有します。
- ・問題をより良い解決へと導くことができ、そして、すべての当事者が彼らの意見を表明することが許される、「率直な異議」の利点を説明します。
- ・たとえば、全員にプロジェクトの所有者意識を感じてもらおうような、そして新しい解決策を発見するような、合意形成の利点を議論します。
- ・合意形成のプロセスの概要：
  1. それぞれの当事者が自分の立場から、望むことをリストアップする。
  2. それぞれの人にとって何が重大な事か、重大な事でないかをもう一度よく吟味する。
  3. 新しい解決策をブレインストーミングする。
  4. これらの解決策の成果を議論する。
  5. 重大なニーズを満たすように解決策や他の決定について手直しをする。

#### 議論のための質問

あなたの職業においてコンセンサスはなぜ必要なのですか？ロータリー・クラブではどうでしょうか？  
コンセンサスは妥協の結果ではないことを、どのようにして確認しますか？  
関係する全員に、どのようにして満足させますか？

#### 提案された行動

グループ討議：参加者を小さなグループに分けて、ケース・スタディーを勉強します。  
違った観点のグループ会員を割り当てて、一人の参加者がモデレーターとなり、必ず合意を形成するようにします。

個人作業：参加者に合意形成に参加しなければならない時間を考慮するように依頼します。彼らが参加したそのプロセスをどのように考えるのか、また、その結果にどのように満足したのでしょうか。

### 3 会員を勧誘する

私たちのクラブが所在する地域社会における、クラブの特徴を再点検していくと共に、新会員を勧誘し、クラブ会員の質を高めていきます。



#### セッションの目標

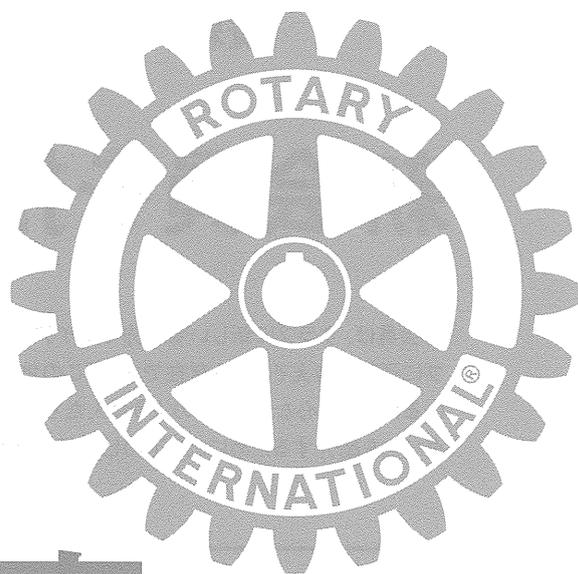
- よいロータリアンの特性を定義する。
- どうしたら、私たちのクラブがよいロータリアンを勧誘することができるかを探る。

#### セッションの話題

- 1) 潜在的な「よいロータリアン」を私たちの住む地域社会のどこで見つけ出すことができるでしょうか？
- 2) あなたのクラブの構成を議論しましょう。  
あなたのクラブの構成は、年齢、性別、人種、宗教、そして職業分類に従って、地元地域社会を反映していますか？あなたのクラブはどのようにして人口統計学的あるいは職業分類的に欠けている部分の会員を勧誘することができますか？
- 3) 会員増強運動（会員獲得運動）をどのように実行するかを議論して下さい。  
（その会員獲得運動によって）どのように新メンバーを獲得しますか？  
あなたはどのように新会員を勧誘しますか？
- 4) あなたのクラブは将来会員となる可能性のある人を歓迎していますか？どのように歓迎していますか？

## 資料：会員を勧誘する① 会員を増強するための必要知識

- 『会員を勧誘する』ためには、ロータリークラブは元気があり、地域社会でよく認知されていること、つまり将来会員となる可能性の人にとって魅力的であることが必要です。
- ロータリークラブの会員になるためには、会員の推薦とクラブの承認が必要です。
- ロータリークラブは国際ロータリーと呼ばれる組織の会員であり、会員資格に関して、RI の認証条件や RI 細則などに従わなければならない。(変更がなければ)
- ロータリークラブは自らの会員を自由に選ぶことができます。しかし、会員資格に関する規定やロータリーの方針に従わなければなりません。
- 2016年の規定審議会で、『ロータリーの審議会』は会員を増強するために、最も効果が出る方法をクラブが自由に決定できるようになる変化を承認しました。それらの変化は次のような点です：
- クラブは例会開催日時を自由に変更できる。
- クラブは実際に顔を合わせる例会でも、オンラインの例会でも選択することが出来る。
- 1ヶ月に最低二回以上の例会を開催すれば、クラブはいつでも例会をとりやめることができる。
- クラブは奉仕活動やその他のクラブの催しを例会と見なすことができる。
- クラブは会員資格に柔軟性を選択できる。
- かつて RI 定款に規定された会員資格の6つの基準が廃止され、簡潔な要件となった。つまり、職業上や地域社会でよい評判を受けており、地域社会において奉仕する意欲のある成人となった。
- ロータリーは、ロータリー会員をより身近で、手が届くような存在にすることも含めて、若い人をロータリーに導くことを目標に定めた『新世代』の方針を継続している。
- 1989年以来、女性がロータリーに入会することが認められています。2018年7月現在、女性会員の割合は世界のロータリアンの22%未満です。



# 会員増強 委員長の仕事

会員増強委員長の役割は、新会員の勧誘と既存会員の維持のための行動計画を立て、実行することです。「クラブを成功に導くリーダーシップ:会員増強委員会編」には会員増強委員会と委員長の仕事が詳しく説明されています。

## 責務

### すべての委員会に共通

地区研修・協議会に出席する。

会長エレクトと協力して委員の人選と研修を行う。

必要に応じて小委員会を設ける(例:入会見込者、会員の積極的参加、新会員オリエンテーション、メンタリングなど)。

定期的に委員会会合を開き、活動を計画する。

クラブ目標を支える委員会目標を立て、目標に向けた委員会の活動状況を随時確認する。

委員会予算を管理する。

クラブのほかの委員会と協力する。複数クラブでの合同活動において地区委員会と協力する。

委員会の活動状況について、会長、理事会、クラブ全体に報告する。

そのほかにクラブが委員会に割り当てている役割を担う。

### 会員増強委員会

新会員勧誘の方法を会員に紹介し、会員維持策を実践する。

会員の職業分類を調べる。

現在の例会、プロジェクト、その他の活動を見直し、新会員にとって魅力的なクラブであるかどうかを評価する。

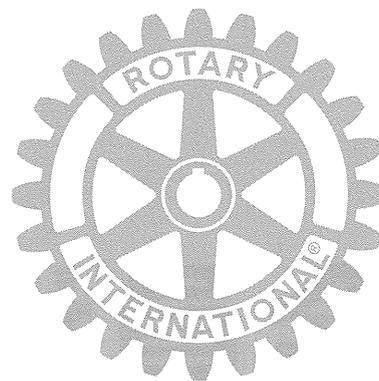
会員の満足度を高めるための行動計画を立てる。

会員増強と会員維持の成果を調べる。

必要に応じて、地区内で新クラブのスポンサー(親クラブ)となる。

## 資料：会員を勧誘する③ 新会員を推薦しよう

# 新会員を推薦しよう

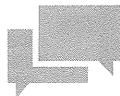


新会員は、クラブに新しい考え方やアイデアをもたらし、ネットワークを広げ、クラブに活気を与えてくれる存在です。どこの地域社会にも優れた会員候補者が必ずいるはず。肝心なのは、そのような人たちを探し出すことです。会員候補者にロータリーを紹介するために、以下のヒントを参考にしてください。



### 自分にとっての ロータリーの良さを伝える

- ロータリーの会員だからこそ味わえる経験
  - ・ 同じ関心をもつ仲間と交流できる
  - ・ ボランティア活動を通じて地域に貢献できる
  - ・ 海外の会員と親交を深められる
- 職業人としての学びと成長の機会
  - ・ ビジネス仲間と知り合い、職業人のネットワークを広げる
  - ・ 職業のスキルと知識を磨く
- ソーシャルメディアでロータリーの活動の動画や写真を共有し、ネットワークを拡大
- ロータリーの襟ピンを身につけて会話のきっかけに



### クラブやロータリーの 情報を共有する

- ロータリーへの関心を示した人にはクラブのウェブサイトやRotary.orgを紹介
  - クラブの最近の活動やイベントを紹介するクラブのパンフレット
  - 例会または会員候補者を対象とした説明会をクラブで開催
  - 友人、家族、同僚も一緒にクラブの奉仕活動やイベントに参加
- 入会への関心を示した人には、会員に期待されること（会費など）を事前に説明しましょう



### 新会員を推薦する

入会候補者が見つかったら、クラブが定めている新会員推薦の手続きに沿って推薦しましょう

#### ウェブサイトで

クラブのパンフレット作成には、ロータリーのブランドリソースセンターにあるテンプレートをご利用ください

新会員を迎え入れるための資料やツールは[www.rotary.org/ja/membership](http://www.rotary.org/ja/membership)をご覧ください

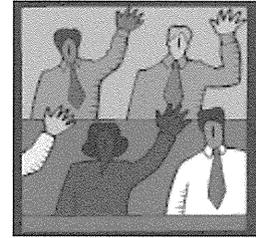


リーダーのネットワークへ：[www.rotary.org/myrotary/ja](http://www.rotary.org/myrotary/ja)

254-JA—(515)

## 4 チーム作りとクラブコミュニケーション

私たちの奉仕の目標達成のために、クラブ会員の協力を効果的に促進し、グループのモチベーションを高めることを推進していきます。クラブ会員に対する効果的なコミュニケーションを促進するよう努める。



### セッションの目標

- チームとチーム作り（チームビルディング）がロータリークラブの中でどのようになされているのか調べてみましょう。
- チームの強みと弱みを議論しましょう。
- リーダーシップのツールとして、チームというものを考察してみましょう。
- あなた自身のリーダーシップのスタイルを考察してみましょう。
- 効果的なコミュニケーションの基本的な要素について理解する。
- 効果的なコミュニケーションの方法をロータリーのリーダーシップに応用する。

### セッションの話題

- 1) なぜ、私たちはロータリークラブにおいてチームを作り、委員会組織を作るのでしょうか？ 委員会は常にチームになり得るのでしょうか？
- 2) 委員会チームを構築する上で、『元気なクラブづくりのために』（クラブリーダーシッププラン）はどんな支援を提供しますか？
- 3) 委員会における委員長の役割は何でしょうか？

クラブ会長の役割は？

幹事の役割は？

4) リーダーやすべてのロータリークラブ会員が他のクラブ会員とコミュニケーションを取るためには、どのような機会があるでしょうか？

5) あなたのクラブと効果的なコミュニケーションを取る上での問題は何でしょうか？

ロータリーの一番大きな力はいつも、一人ひとりのロータリアンである。他のどんな組織もこのようなパワフルな人的資源を持っていない。

元 RI 会長 Glen W. Kinross

会長メッセージ

The Rotarian 1997 年 7 月

6) 多くの地域社会では、ロータリーの存在はあまり知られていません。私たちのクラブはどうしたらより良い広報を行うことが出来るでしょうか？

7) どうしたら、クラブ会員が広報戦略の一員になってくれるでしょうか？

### コミュニケーションの練習：口頭

同僚ロータリアンの前であなたの代りにスピーチをする人がいません。このセッションでは、あなたに練習の機会が与えられます。

### コミュニケーションの練習：書かれた文章

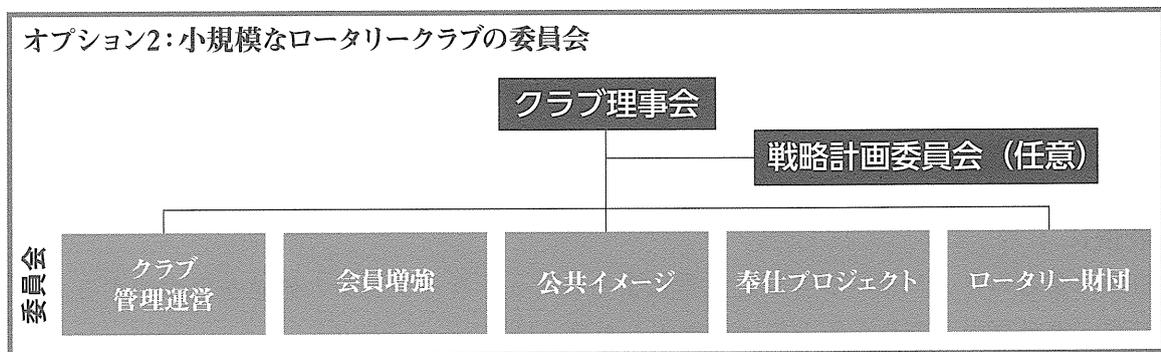
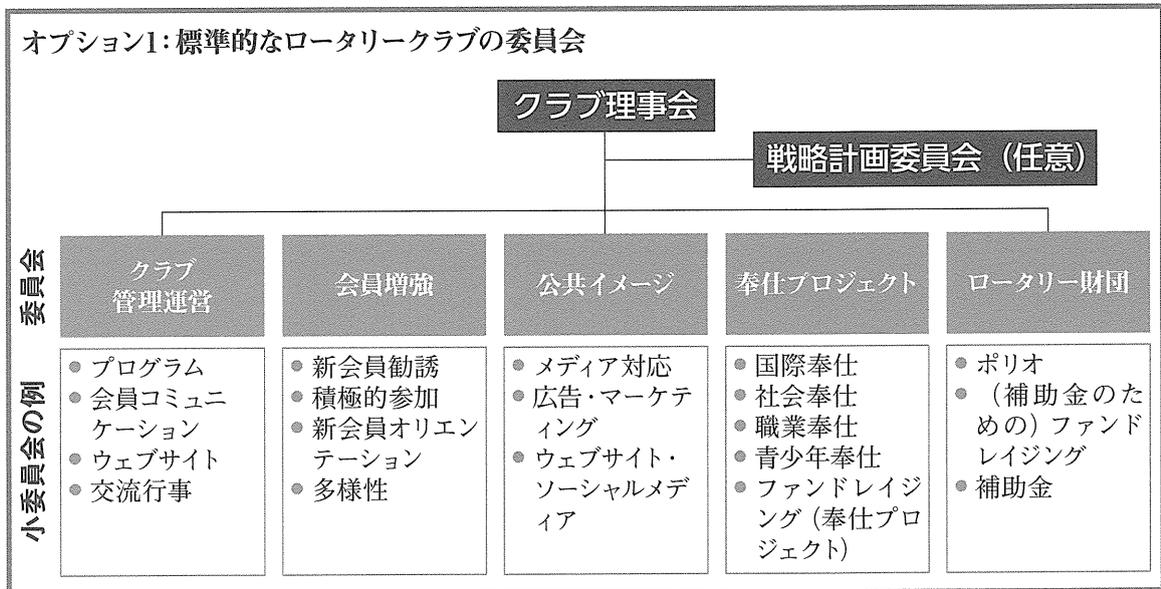
ロータリークラブでは書かれた文章による情報伝達（ソーシャルメディア等に掲載されるものを含む）も、度々必要となります。

### 最後に：

口頭によるコミュニケーションと文章によるコミュニケーションの価値を再検討する。そして、クラブ内でそれらを上手に出来る人を見つける。

## 資料：チーム作り① クラブ委員会構成例

ロータリーは5つのクラブ委員会を推奨しています。クラブの関心や活動、会員数に応じて、委員会を追加、削除や統合することができます。どのような小委員会が適しているかは、ガバナー補佐または地区ガバナーと相談して決めることもできます。



## 「元気」の秘訣をご紹介します

### ビデオ会議

仕事や私用で出張中、子育て・介護中の会員が、自宅や出張先からインターネットを利用して、例会、理事会、協議会にビデオ参加できるようにしています。これによって、出席率が上がるだけでなく、マイクを通じて意見発言もできるため、参加への積極性が向上しました。おかげで、会員一人ひとりがクラブ運営に携わっているという意識が高まっています。

ビデオ会議の導入は、会員の退会防止に加え、多忙な入会希望者にとって例会参加の選択肢が広がるので、会員増強の有効な手段ともなっています。今後はパソコンに不慣れな会員もビデオ会議に参加できるようにするためのオリエンテーションを行うなど、積極的な利用を勧め、参加率をさらに上げていきます。

### 柔軟なクラブ運営

事務局をおかないことで、会員が事務的業務をすることによってロータリーの知識を深めたり、事務所や事務局員にかかる経費の大幅な削減につながっています。

例会では食事をとらない形式を用いているため、例会後に有志による親睦食事がよく企画開催され、異文化交流の雰囲気を楽しむことができます。

### 独自の活動で公共イメージアップ

クラブの特色を生かした奉仕活動は、口コミだけでなく、地元紙・メディアにも取り上げられ、公共イメージ向上につながっています。現在、国連ユニタールとの活動に参加しており、今年度

(2017-18年度)初めてグローバル補助金を活用して、米国のクラブと一緒に広島の前原を生き延びた被爆樹木を世界に植樹するプロジェクトを実施しています。

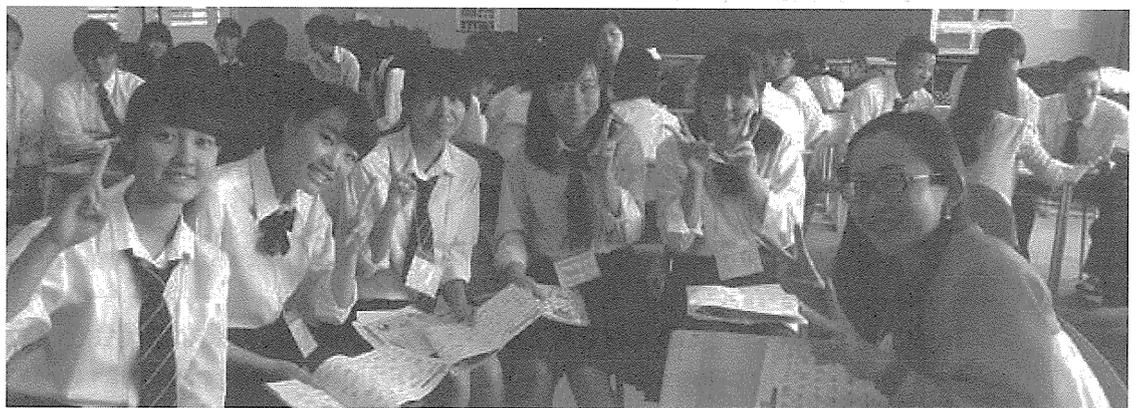
### 会員ネットワークの活用

ロータリーファミリーや友人の紹介が多いのもこのクラブの特色です。会員の家族、友人、大学の後輩などを奉仕活動に誘って、ロータリーの活動理念をともに学び、体験し、それが入会につながっています。日本にいるとなかなか体験できない活動を、ロータリーを通じて体験でき、世界中に仲間ができることを大いに謳歌できます。会員出身国の学友会活動の活性化も、奉仕活動の一環として取り組んでいます。

学友が多いクラブの強みは、会員が入会前からロータリーの活動に参加した経験をもっていることです。特に米山奨学生は、「米山学友」としての誇りを胸に、民間大使として日本と母国との懸け橋として、さまざまな分野で活躍しています。このような会員の個性こそがクラブの財産だと強く思います。

### リーダーシップの育成

米山学友が日本社会で道を拓き、幹部職として活躍できるような人材として育つことができるよう、RYLAプログラムなどをヒントにした企画にも取り組んでいます。会員には独立して起業した人も多く、海外のビジネス事情について情報交換をするなど、職業奉仕にも役立っています。



## 元気なクラブとなるためのステップ

あなたのクラブでは、会員が積極的に参加し、実りあるプロジェクトを実施し、新しいアイデアを試していますか？楽しく、活気に満ちていますか？

以下のアイデアを参考にして、会員の積極性と地域の人びとの関心を引き出し、入会を促すためのプランを立てましょう。

### クラブの3～5年後の姿を思い描く

- 年に1度、クラブのビジョンについて話し合う。クラブの健康チェックを使ってクラブの強みと改善点を探る。
- 戦略計画立案ガイドを使って長期目標を立てる。

### 年次目標を立て、ロータリークラブ・セントラルに入力する

- クラブが得意とする活動や分野を見つけ、その長所をさらに伸ばす。
- 月1回、目標に向けた進捗状況を各委員会に伝える。

### 会員が積極的に参加でき、情報豊かな例会とする

- クラブの良い点、改善点を探るために会員満足度調査を実施する。調査の結果を基に、今後の実行項目を決める。
- 従来型例会、オンライン例会、奉仕プロジェクト、親睦の集まりなど、さまざまな例会形式を取り入れる。

### クラブ内でオープンなコミュニケーションを図る

- 例会、クラブのウェブサイト、ソーシャルメディアで情報を共有する。
- 定期的に会員の声を聞く機会を設ける。
- ブランドリソースセンターから入手できるテンプレートを活用し、クラブのパンフレットと会報をつくる。

### 後継者を育て、スムーズな引き継ぎを図る

- 継続性を図るため、次年度以降のリーダーも任命する。各委員会には現委員長のほか、次期委員長と元委員長も含める。
- 次期役員のために「OJT（オンザジョブトレーニング）」を行う。各役員の責務内容を文書にまとめる。

### クラブの運営方法を反映させて、細則を独自に修正する

- 会員とともにクラブ細則を毎年見直す。
- 推奨ロータリークラブ細則のテンプレートに手を加え、クラブの新しい手続きや運営方法が反映されるようにする。

### 会員同士の交流を深める

- 「新会員オリエンテーション：ロータリーでの第一歩を踏み出してもらうために」を参考にする。
- 毎回の例会で違う会員と同席するようにする。

### 会員が心から関心をもてる活動に参加できるようにする

- 会員の関心を調べるアンケートを実施し、その結果を基にプロジェクトや活動を計画したり、会員が満足できる例会を企画する。
- 新会員の関心を調べ、各自に合った役割をクラブで担当してもらうことで、入会后早い時期から新会員の参加を促す。

### ロータリーのリーダーとなる人材を育てる

- クラブの研修リーダーまたは研修委員会を任命し、研修プランの立案と実施を担当してもらう。
- 「実践リーダーシップ」の研修を実施し、会員のリーダーシップスキルを磨く。

### クラブ運営に必要な委員会を設置する

- 小規模クラブ：委員会の活動を統合する方法を検討する。
- 大規模クラブ：全会員が参加できるように、追加の委員会を設ける。



## 資料：クラブコミュニケーション① スピーカーを紹介する 考慮すべきこと

### ● 準備

- ◇ あらかじめスピーカーを訪問する。もしできなければ、ある程度の調査をする  
(Googleなどで)
- ◇ 紹介に使うために、スピーカーについての個人的なちょっとした情報を得る
- ◇ スピーカーやその演題と関係するあなた自身の経験から何か共有できるものを考えておく
- ◇ 印刷された短い略歴から利用するための関連事項をいくつかピックアップする。しかし、とりわけ大切なことだが、略歴を読んではいけません

### ● アプローチ

- ◇ 60～90 秒が適当
  - 自分自身で練習し、時間を測る
- ◇ 陳腐な表現は避ける（例えば、「この方は紹介するまでもない方ですが」…）
- ◇ 聴衆とのアイコンタクトの練習する；頻繁に顔を上げてメモから目を離す
- ◇ 熱烈にそして陽気に

### ● 紹介

- ◇ もしも誰かがあなたを紹介していないのであれば、自己紹介する
- ◇ スピーカーと演題を確認する
- ◇ スピーカーがこの話題について話をする資格がある理由を説明する（経歴：現在や過去の経歴）
- ◇ この演題が聴衆にとって重要である理由を話す
- ◇ スピーカー（とあなた）についての個人的な情報を共有する
- ◇ 声や身振りで高い調子で紹介で終わる。たとえば、「皆様にご紹介できるのは、私にとっても誠に光栄なことです、...」
- ◇ スピーカーを演台に迎え、握手をし、スピーカーを聴衆に「披露する」

## 資料：クラブコミュニケーション② 人の前で話す10の秘訣

スピーチをするときに少し神経質に感じるのは普通のことですし、有利な事さえあります。しかし、余りにも神経質になりすぎると却って有害となります。あなたの人前での「あがり」をコントロールし、そして更により発表が出来るために、検証済みの秘訣があります。

1. スピーチ資料を勉強しなさい。あなたが興味ある話題を取り上げる。あなたがスピーチで話すことよりも、その内容についてもっとよく勉強すること。ユーモアや個人的な話や会話型言語を使いなさい。——言う事を容易に忘れない方法です。
2. 練習。練習。練習！あなたが使おうとしている全ての備品も使って、大声でリハーサル。必要に応じて修正する。無駄なつなぎ言葉\*を使わないようにしなさい。練習しなさい、小休止しなさい、呼吸をしなさい。  
タイマーで練習し、予想しないことへの時間を見込みなさい。  
\*(あの一、その一、え一等)
3. 聴衆を知る事。到着した聴衆の何名かと挨拶する。見知らぬ人達に話をするよりも友だちのグループに話をする方が容易です。
4. 場所を知る事。早く到着し、スピーチをする場所の周りを歩く。そしてマイクrophonや（スライドなどの）視覚教具を使って練習。
5. リラックス。聴衆に公式の挨拶から話を始めます。それで時間を稼いでくれますし、あなたの神経も静めます。一呼吸、微笑み、何か言う前に3つ数えます。（1つの1千、2つの1千、3つの1千。一呼吸。そして始める）神経質なエネルギーを情熱へと変換させる。
6. あなたがスピーチをしている姿を心に描いてみる。あなた自身がスピーチをしている姿、あなたの声の大きさ、はっきりと自信に満ちた様子を想像します。そして、聴衆が拍手をする様子を心に描いてみます。——それはあなたの自信を高めるでことでしょう。
7. あなたが成功することを皆が願っていることに気付きましょう。聴衆はあなたの話が、興味深く、興奮し、有益で、面白いことを期待しています。彼らはあなたの味方です。
8. 自分の不安や緊張に触れる必要はありません。——聴衆はおそらく決して、気がついていないでしょう。
9. 手段ではなく、メッセージに集中しましょう。あなたの注意をあなた自身の不安から引き離して、あなたのメッセージと聴衆に集中させましょう。
10. 経験を得ましょう。大概、あなたのスピーチは——その分野の専門家としてのあなたを象徴する事でしょう。経験は効果的なスピーチのカギとなり、自信を築いてくれます。

### 資料：クラブコミュニケーション③ 内部文書におけるコミュニケーションの事例研究

何年もの間、大人の識字能力は米国 ミズーリ州 カンザスシティにおける大きな問題でした。ある時期、カンザスシティの大人の約5人に1人は、機能的に、読み書きができませんでした。そのため、このグループは貧困、失業、ホームレスに陥り易い状況となっていました。

カンザスシティのロータリークラブの会員はこの問題を何とかしなければならないと考え、大人の識字問題に対処するために何をすべきかを決定するために、社会を調査しました。新しい識字プログラムを開始するためには、費用、専門的知識技能、そして時間が必要であると言う調査結果が明らかになり、それはクラブの資力を優に超えたものでした。

しかし、くじけずに、クラブは、寄付された教室で約50名の生徒を抱え、ボランティアのスタッフで運営しているラウバハ識字評議会を含めて、大人の生徒を教育するために活動している地域社会の組織を調査し始めました。クラブ会員は地域の教会に新しい教室を改装・設置し、評議会スタッフを拡充し、そのセンターでの生徒の数を増加させることを望みました。

センター設立と拡張の募金活動を行うために、クラブはスペリングコンテスト団体を組織することを決定しました。ロータリアン、地域社会の労働者、地域社会のメンバーは10組の4名からなるチームを結成しました。そして、地域の企業がそのチームをスポンサーし、格安価格でイベントのサービスを提供します。

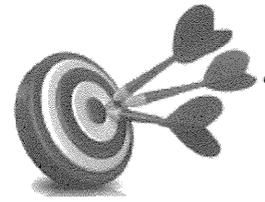
#### グループ1：

- 1) あなたは、クラブ会員が何をする必要がありますか？
- 2) クラブはクラブ会員の支援を得るために、クラブのウェブサイトやFacebookページをどのように活用しますか？
  - a. どのような情報が必要ですか？
  - b. どのような一連情報が提供されるべきですか？
- 3) クラブの誰が、これが成し遂げられることを見届ける責任者になりますか？

#### グループ2：

- 1) あなたは、クラブ会員が何をする必要がありますか？
- 2) 会員の支援協力を得るために、(クラブのウェブサイトやFacebookページ以外で) どのような文書による情報手段が利用できますか？
  - a. クラブ例会で何を提供すべきですか？
  - b. どのようなソーシャルメディアが利用できるでしょうか？
  - c. コミュニケーションをそれぞれ図る中で、どのような情報が必要ですか？
- 3) クラブの誰が、これが成し遂げられることを見届ける責任者になりますか？

## 5 ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕



ロータリー財団のプログラムを通じて、目標としている、ユニークで意義深い奉仕活動の機会へのクラブ会員の参加を促進することができます。

### セッションの目標

- ロータリー財団の補助金モデルを復習する。
- クラブにとって補助金モデルが重要であることを議論する。
- ロータリーの『6つの重点分野』の役割について学ぶ。
- 『持続可能性』の重要性について理解を深める。

### セッションの話題

- 1) ロータリー財団の使命について、(ざっと)振り返ってみましょう。

Part I の復習：私たちの財団  
ロータリー財団の使命は、ロータリアンが、健康状態を改善し、教育への支援を高め、貧困を救済することを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

- 2) ロータリー財団の補助金モデルはどのような種類がありますか。  
それぞれのタイプの補助金はどのように使われますか。

- 3) クラスを二つのグループに分けて、挿入資料「目標とする奉仕⑤ 目標とする奉仕事例研究」の奉仕事例研究について議論してください。グループディスカッションでは、事例研究に提示されている質問について議論してください。各グループは質問に対するディスカッション結果について報告し、続いて、クラス全体でディスカッションしてください。

4) 6つの重点分野について再点検してみましょう。なぜ6つの重点分野が重要なのでしょうか。

5) 事例研究の中での質問：『その補助金は持続可能ですか？』の『持続可能』とは、どのような意味でしょうか？プロジェクトにおける持続可能の価値は何でしょうか？

6) グローバル補助金の要件の一つは地域調査（地域社会のニーズ調査）を実施することです。なぜ、地域調査（地域社会のニーズ調査）が必要だと思いますか？それは重要ですか？あなたのクラブから何千マイルも離れた国での実施するプロジェクトに対して、どのように地域調査を実施しますか？

7) 小グループに分かれて、事例研究（資料:ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕⑤ 目標とする奉仕事例研究）を検討してみましょう。

8) 補助金によってどのようにロータリアンに財団への寄付やプログラムに参加を促すことができますか。

9) 補助金モデルは公共イメージ向上に役立ちますか。

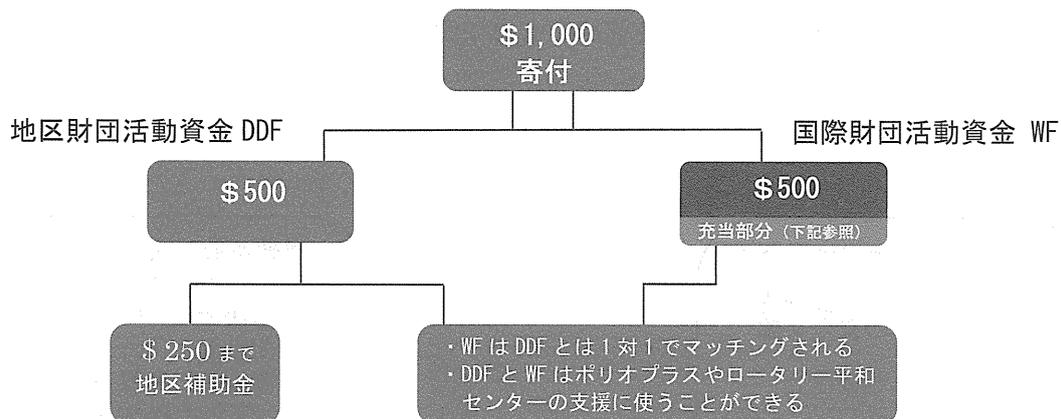
資料：ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕① 補助金モデル

		<b>財団補助金</b>	
		<b>地区補助金</b>	<b>グローバル補助金</b>
<b>概要</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>あなたの地域や海外の地域において小規模で短期的な活動をするための資金。</li> <li>各地区はこの補助金を利用して行う活動を選ぶことができます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>六つの重点分野における持続可能且つ測定可能な、大規模で国際的な活動を支援します。</li> <li>(補助金を必要とする) 地域のニーズに応える、国際的なパートナーシップからの補助金。</li> </ul>	
<b>事業の種類</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>調査や検証のための旅行や災害復興支援を含む人道的プロジェクト、任意の研究範囲あるいは研究期間の奨学金、職業研修チームや研究グループ交換。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホストとスポンサーの2ヶ国のクラブが必要です。</li> <li>奨学金、人道的プロジェクト及び職業研修チーム。</li> </ul>	
<b>要件等</b>	<ol style="list-style-type: none"> <li>地元および国外でのプロジェクトと活動。</li> <li>国際ロータリーの以下のプログラム：財団章典第 10.030 節「利害の対立に関する方針」を順守するインターアクト、ロータリーアクト、RYLA、ロータリー青少年交換、新世代奉仕交換、およびロータリー友情交換。</li> <li>教育的および人道的研修を中心とするロータリー行事（奨学生オリエンテーションセミナーや補助金管理研修セミナーなど）</li> </ol>	<p><b>全般</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>活動が実施される国（実施国）に所在するクラブと外国（援助国）に所在するクラブの二つのロータリークラブまたは地区が提唱する活動を支援する。</li> <li>対象事業：3万ドル（ロータリー財団の国際財団活動資金から授与される補助金は15,000米ドル）以上の事業。</li> <li>国際財団活動資金の上乗せ：現金拠出に対しては50パーセント（半額）、DDFの寄贈に対しては100パーセント（同額）を上乗せして支給。</li> </ol> <p><b>人道的プロジェクト (Humanitarian Projects)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>土地や建物の購入及び建設は原則として対象外であるが、ロータリー財団のガイドラインに規定された低廉簡易住宅あるいは簡易校舎は対象となる。</li> </ol> <p><b>職業研修チーム (Vocational Training Teams)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>チームリーダーはロータリアンであることが望ましい。ただし、補助金申請書にその利点十分に説明されている場合は、ロータリアンではない人がチームリーダーを務めることができる。</li> <li>職業研修チームは経験豊富なチームリーダーと少なくとも2名のメンバーから構成されなければならない。チームメンバーの総数の上限はない。</li> </ol> <p><b>奨学金用グローバル補助金 (Global Grants for Scholarships)</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>奨学金の支給期間は1～4年間とし、大学院または同等レベルでの学業または研究活動に充てる。</li> <li>地区補助金またはグローバル補助金を受給する個人は、ロータリー平和センター提携大学において、ロータリー平和フェローが専攻するのと同じ、または類似した専修プログラムで学ぶために留学することはできない。</li> <li>奨学生は、補助金申請時に大学院の入学許可証、または大学院レベルの研究を行うための招待状をロータリー財団に提示しなければならない。</li> </ol>	

詳細は、「ロータリー財団章典」或いは「地区補助金とグローバル補助金 授与と受諾の条件」を参照願います。

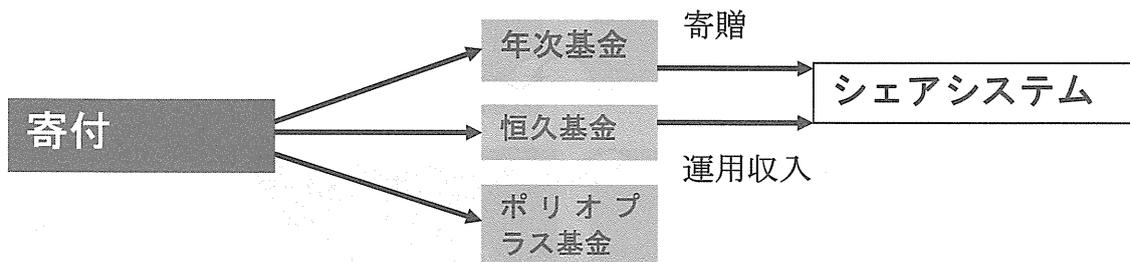
資料:ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕② シェアシステムと基金寄付

シェアシステム 2015年7月1日から有効



- ・ ここでは恒久基金の運用による収入はDDFに含まれていません。
- ・ 未使用DDFは次年度へ繰り越し
- ・ 投資収益が不足する場合、寄付額の5%は財団の運営費を賄うために充当されます。(充当部分)

基金寄付

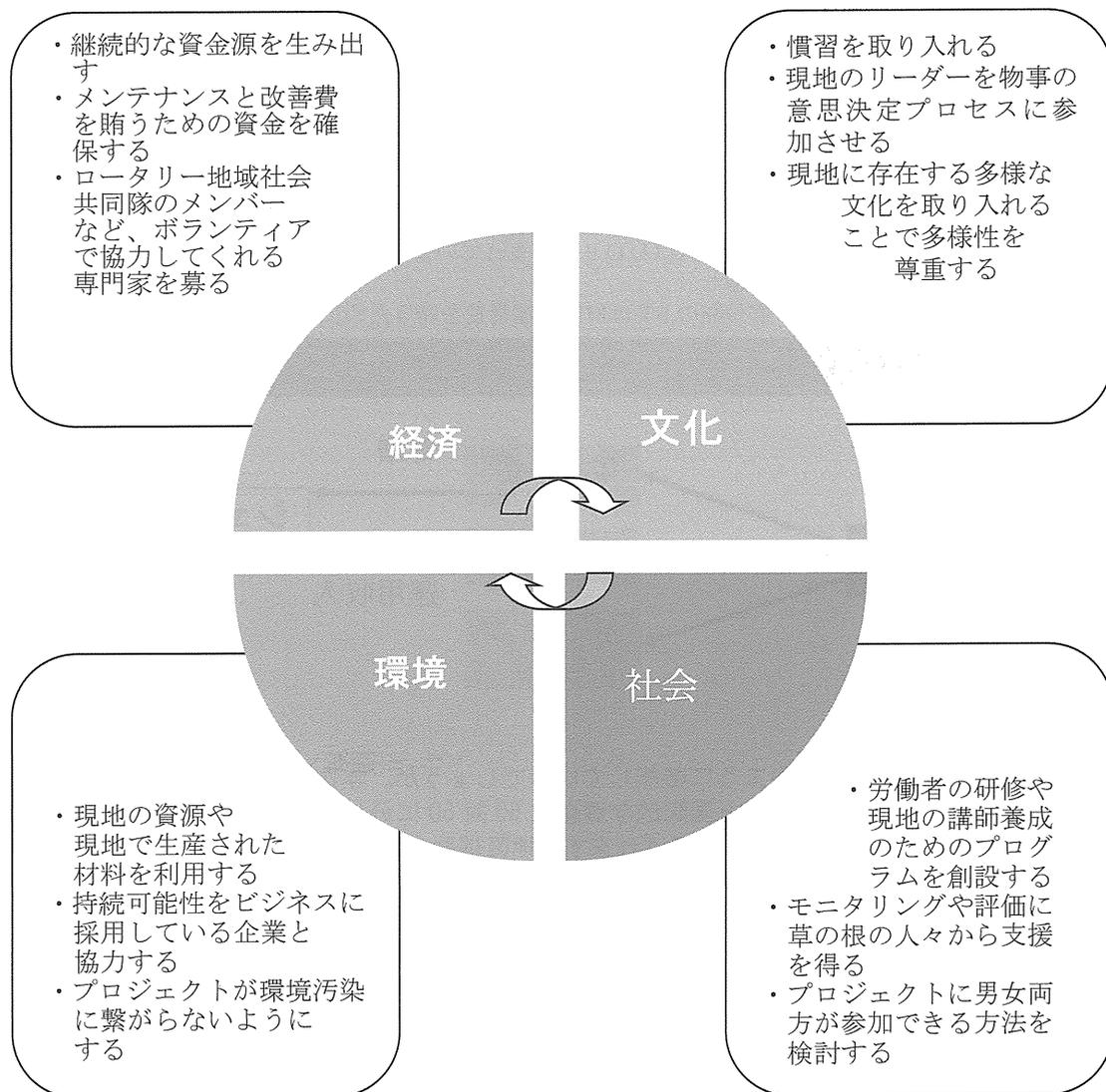


詳細：シェアシステムはどのように機能しているのでしょうか。年次基金は3年間投資されます。この3年間に資金は地区の資金と国際的な資金に50対50に分けられます。この基金の地区の部分は、「地区財団活動資金」(DDF)と呼ばれます。地区補助金を通じて、地区はクラブと地区のプロジェクトのために、そのDDFの50%までを使うことができます。残りのDDFは、グローバル補助金やポリオプラス、ロータリー平和センター、あるいは、他地区への寄贈として使われます。もし、DDFが支給された年度に使われなければ、地区の残高に累積され、その後は、グローバル補助金にしか利用できません。国際財団活動資金寄付は、グローバル補助金とのマッチングに使われます。そして、以前はパッケージ・グラントの資金供給のためにも使われました。\* 国際財団活動基金はDDFとは1対1でマッチングされ、現金とは1:0.5となります。地区補助金は、どのような額でもかまいませんが、グローバル補助金は3万ドル以上でなければなりません。2015年7月1日からは資金モデルに数々の変更が生じますが、これらの変更はDDFには影響を及ぼしません。これらの変更の下では、財団運営費や運営準備金のために、国際財団活動資金(WF)は、年次寄付の5%、グローバル補助金への資金給付のための現金拠出の5%、そして一定企業からの寄付の10%が削減されます。ただし、余剰が出る場合は、その余剰金は、毎年、恒久基金(Endowment Fund)へ回されます。

## 資料：ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕③ 持続可能性とは何か？

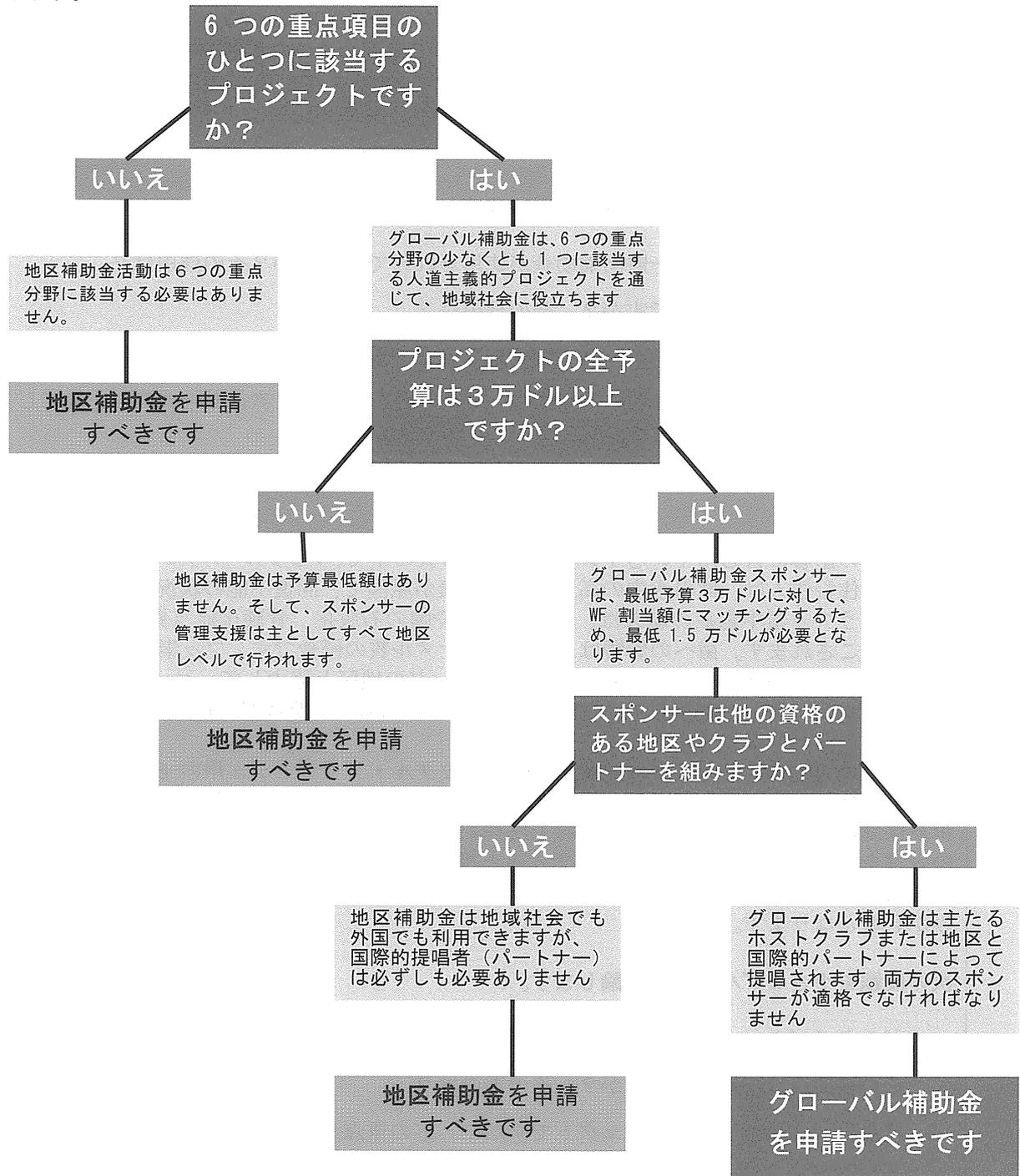
持続可能性という言葉はしばしば、「環境にやさしい」という意味で用いられます。しかし、環境問題は持続可能性の単なる一面に過ぎません。経済、文化、そして社会的要因も同様に重要です。これらの4つの分野すべてにおいて持続可能性に取り組めば、人道的プロジェクトを実施した地域社会の利益を長期的なものにする良い機会となります。各分野で持続可能性をプロジェクトに採用する方法を、以下にいくつかご紹介します。

(The Rotarian 2012年2月)



## 人道的プロジェクトの補助金のタイプを決定する

地区/クラブは人道的プロジェクトに関心があります。次の質問は、ロータリアンのスポンサー（援助提供者）が、グローバル補助金に申請するのか、地区補助金にするかを決定する時に役立ちます。



参考：TRF 研修ワークブック 2013年1月17-19 サンディエゴ CA USA

## 資料：ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕⑤ 目標とする奉仕事例研究

### 事例研究 A

ジョンとメリーは言葉の通じない新しい国に住むことになりました。彼らは地域社会に溶け込むことは難しいと感じています。彼らは地元の学校に通いますが、個人的な語学研修のための材料（リソース）は限られています。彼らの両親は母国語しか話せないことが、家族全体の孤立感を増しています。

これはひとつの家族の例ですが、地域社会においては同じような問題を持つ家族が多くあります。ロータリークラブは地元のすべての学校で必要としている二国語辞書を提供することを決定いたしました。5 学年の学校で 300 名の生徒がいることが分かりました。辞書は 1 冊 5 ドルです。

次の問題について小グループで議論を行います。：

- ・ どのタイプのロータリー財団補助金を使用されるでしょうか？その理由は？
- ・ その補助金は持続可能ですか？ その理由は？
- ・ 重点目標に該当したプロジェクトですか？ どの重点目標に該当していますか？

それぞれのグループは、これらの質問について自分たちの考えた答えやその理由を説明し、グループ全体への報告とします。

### 事例研究 B

フッ素症の影響に苦しんでいるインドの 2,500 万人の中で、ウッタル・プラデーシュ州の バタリ村に住む住人は、飲料水中の高レベルフッ素が原因で、回復不能の状況にあります。痛みを伴うフッ素中毒症の結果は、奇形、靭帯や腱の石灰化、骨硬化症（異常な骨密度）が引き起こされます。歯への影響は、斑紋とエナメル質の侵食です。フッ素は歯を腐らせ、骨を破壊する力があります。あなたの地区はインドの地区と協力して、ロータリー財団の補助金プロジェクトを利用して、パラリ村の 60 家族に対して濾過器を提供したいと考えています。

また、この 40,000 ドルのプロジェクトは、ウッタル・プラデーシュ州の 8 つの学校の約 2,300 名の生徒たちに、トイレ、安全な飲み水、そして衛生研修も提供します。

世界保健機構は、世界の疾病のうち約 10 分の 1 は水の供給、衛生設備、保健衛生、水資源の管理を改善することで防ぐことができると推定しています。インドの村が示すように、問題解決には、それぞれの地域社会のニーズを評価することを含む、目標を絞った取り組みが必要となります。

次の問題を小さなグループで議論します。：

- ・ どのタイプのロータリー財団補助金を使用されるでしょうか？その理由は？
- ・ その補助金は持続可能ですか？ その理由は？
- ・ 重点目標に該当したプロジェクトですか？ どの重点目標に該当していますか？

それぞれのグループは、これらの質問について自分たちの考えた答えやその理由を説明し、グループ全体への報告とします。

## 資料:ロータリー財団Ⅱ 目標とする奉仕⑥ ロータリー財団6つの重点分野

私たちは地域社会や世界で最も大きな影響を与えるために目標となる特別な根拠を確認しました。同時に、私たちは、それぞれの地域社会が独自のニーズや懸案事項を持っていることも理解しました。

グローバル補助金や他のリソースを通じて、私たちは各クラブが下記の分野における奉仕活動に焦点を当てる事を支援します。

### 平和の促進（平和と紛争予防／紛争解決）

今日、6500万人の人々が、武力紛争または迫害によって現在故郷を追われています。いくつかの優れた大学との関係により、ロータリー平和フェローは技能を磨き、平和への努力を強化し、紛争を予防し仲裁するために地域のリーダーを研修し、紛争によって影響を受けた地域での長期間の平和構築を支援します。私たちはロータリー平和センターに毎年、最高100人までの平和フェローシップ（奨学金）を授与しています。

### 疾病との戦い（疾病予防と治療）

毎年1億人以上の人々が医療費のために貧困に追いやられています。私たちは、開発途上国における低コストで無料の医療に向けて改善、拡充することを志しています。私たちの会員はポリオ、エイズ、マラリアなどの主要疾患の拡大を防止するために、地元社会の人々を教育し、動員しています。私たちの多くのプロジェクトは、医療研修整備を、労働者が生活している場所に必ず設置するようにしています。

### きれいな水の提供（水と衛生）

25億人以上の人々は適切な衛生設備を利用することができません。少なくとも毎日3000人の子供が安全でない水による下痢性疾患で亡くなっています。私たちのプロジェクトは、持続可能な水と衛生システムを開発・維持する能力を地域社会に与え、そして水と衛生に関する研究を支援することです。

### 母子の健康（母子の健康）

少なくとも700万人の5歳以下の子供が毎年、栄養不良、貧しい医療、および不適切な衛生で亡くなっています。この数値を下げるために、私たちは赤ちゃんに対する予防接種や抗生物質を提供し、基礎的医療サービス状況を改善し、母子のために研修を受けた医療供給者を支援しています。私たちのプロジェクトは、地域社会に医療研修プログラムを自分のものにする権限を与えることで、持続可能性を補償することです。

### 教育支援（基本的教育と識字率向上）

世界で6700万の子供達は教育を受けていません。そして15歳以上の7億7500万人以上の人たちは読み書きが出来ません。私たちの目標は、基礎的教育と識字率向上を支援し、教育における性的な不平等を低下させ、大人の識字率を高めるために、地域社会の能力を高めることです。

### 地域経済の発展（経済と地域社会の発展）

約14億人の労働者は一日1.25ドル以下で暮らしています。私たちは経済と地域社会の発展を促進し、若い人も年老いた人も、きちんとした、生産的な仕事に就ける機会を開発するプロジェクトを実施しています。私たちはまた、発展途上国において地域の起業家や地域のリーダー、特に女性を支援しています。

## 6 米山記念奨学事業

(米山記念奨学事業の基本と事業の意義)



### セッションの目標

ロータリー米山記念奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生を支援する国際奨学事業プログラムです。1952年にスタートし、1967年、現文部科学省を主務官庁とする「財団法人ロータリー米山記念奨学会(現在は公益財団法人)」が設立されました。全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ私費外国人留学生に奨学金を支給する、世界で類を見ない日本独自の34地区による「多地区合同活動」として、全国のロータリークラブ、地区が米山記念奨学会の活動を支えています。このセッションでは、奨学制度の基本、及びこの事業の意義を中心に、事業全体の概要を学びます。

### セッションの話題

1. ロータリーには外国人学生に対する支援プログラムが幾つかあります。どのようなプログラムがあるでしょうか? 対象となる学生はどのような学生ですか? そのプログラムの提唱者は誰でしょうか?
2. 年間の奨学生採用数は凡そ852人、事業費は14億円(2017-18年度実績)、国内では民間最大の奨学事業です。ご存じでしたか?  
支援学生数は累計で20,396人(2018年7月現在)です。  
米山記念奨学生と接したことがありますか?
3. この事業の意義について伺います。どんな意義があるのでしょうか? 留学生の出身国における意義、日本における意義、国際社会における意義はどのように違うのでしょうか? あるいは同じでしょうか? では、ロータリーそしてロータリアンにとっての意義はどうでしょうか?

4. 奨学金の原資は日本の34地区のロータリアン、クラブ外の米山学友などの篤志家の寄付金で全て賄われています。米山奨学会への寄付には税制上の優遇措置があります。  
また、一人当たりの個人寄付額、地区寄付総額、有資格者数及び特別寄付者割合によって、地区の採用学生数が決められます。また、表彰制度もあり、これ等を理解した上で、有効な寄付増進の方策について考えをお述べください。
  
5. 更に、この事業を拡大、発展させるにはどうしたら良いでしょうか？
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
6. この意義有る奨学事業を充分知っていましたか？どうしたらロータリアンにもっと理解を深めて頂く事が出来るでしょうか？ 広報活動についてどう考えますか？
  
  
  
  
  
  
  
  
  
  
7. 本事業は公益財団法人の許可を得て活動をしており、法的に制約されている部分もありますが、そのような制約に拘わることなく、自由な発想で本事業の未来はどうあるべきか、どうなることが望ましいか、お考えください。

# 米山記念奨学事業基礎知識

(「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」より流用、一部加筆)

## 1 ロータリー米山記念奨学事業とは

ロータリー米山記念奨学事業とは、全国のロータリアンからの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。

### 事業の使命

将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す「平和と国際理解の推進」そのものです。

### 60年にわたって受け継がれている事業

日本のロータリーの創始者、故・米山梅吉翁の偉業を記念し、後世に残るような有益な事業を立ち上げたい――。

1952年、東京ロータリークラブが発表したのは、海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業、「米山基金」の構想でした。そこには、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、国際親善と世界平和に寄与したい…という、当時のロータリアンたちの強い願いがあったのです。

「将来の日本の生きる道は平和しかない。その平和日本を世界に理解させるためには、アジアの国々から一人でも多くの留学生を日本に迎え入れて、平和日本を肌で感じてもらうしかない。それこそ、日本のロータリーに最もふさわしい国際奉仕事業ではないだろうか」

(「ロータリー米山記念奨学会史」より)

### 日本のロータリーによる多地区合同活動

クラブ単独事業として始まったこの事業は、わずか5年で日本全国の共同事業へと発展。1967年には文部省(当時)を主務官庁とする(財)ロータリー米山記念奨学会が設立されました。歴史的にも世界に類を見ない日本のロータリー独自の多地区合同活動となっています。

### 特長その1 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに対して、地域のロータリークラブから「世話クラブ」が選ばれ、ロータリーとの交流の起点となります。さらに、世話クラブ会員の中から「カウンセラー」が選ばれて日常の相談役となり、奨学生が安心して留学生活を送れるよう配慮しています。

米山奨学生は例会や地域の奉仕活動、日本の実業人・専門職業人であるロータリアンとの交流を通じて、より深く日本を知り、ロータリーが求める平和の心を学んでいます。ロータリアンにとっても、奨学事業の意義を実感し、視野を広める機会となっています。

### 特長その2 日本最大の民間奨学事業

年間の奨学生採用数はおよそ800人、事業費は14億円(2017-18年度決算)と、国内では民間最大の国際奨学事業です。これまでに支援した奨学生数は、累計で20,396人(2018年7月現在)。その出身国は、世界125の国と地域に及びます。

## 2 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会のあゆみ

- 1946●米山梅吉氏逝去
- 1952●東京 RC が奨学事業の構想を立案
- 1953●「米山基金」の募金開始
- 1954●奨学生第 1 号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957●全国組織とすべく、財団法人化を前提とした「ロータリー米山奨学委員会」を結成
- 1958●新組織初の奨学生 8 人を採用
- 1959●世話クラブ制度設置
- 1960●「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967●文部省から財団法人の許可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971●カウンセラー制度設置
- 1972●米山功労者制度の設定
- 1978●特別寄付金への免税措置の認可を得る
- 1981●CY 奨学金（現：クラブ支援奨学金）制度開始
- 1983●台湾米山学友会（扶輪米山会）正式発足
- 1985●国内初の米山学友会（関東）が誕生
- 1989●韓国米山学友会正式発足
  - 4 月採用から元ロータリー所在国へ門戸を開く
- 1999●4 月採用から全ての国・地域が対象となる
- 2001●日本政府から留学生交流功労団体として表彰される
- 2002●4 月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行
- 2004●大阪国際大会に初ブース出展
  - RI 理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受ける
- 2005●4 月採用から採用数・奨学金額を縮減
- 2006●制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」、「地区奨励奨学金」
- 2007●日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008●ホームカミング制度がスタート
- 2009●中国米山学友会正式発足
- 2010●第 2750 地区に東京米山友愛 RC 創立
  - 中国・韓国の学部生に応募資格が与えられる
- 2012●「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
  - タイ米山学友会設立
  - タイ・バンコク国際大会にブース出展
- 2013●ロータリー世界平和フォーラム広島にブース出展
  - ネパール米山学友会設立
  - よねやま親善大使制度スタート
- 2014●モンゴル米山学友会設立
- 2016●ソウル国際大会にブース出展、初の分科会開催
  - スリランカ米山学友会設立
  - マレーシア米山学友会設立
- 2017●ミャンマー米山学友会設立
  - ロータリー米山記念奨学会、財団設立 50 周年
- 2018●財団設立 50 周年記念式典

### 3 決算のご報告

皆さまの寄付金はすべて奨学事業に

米山記念奨学事業は、皆さまから毎年いただく寄付で支えられています。2017-18年度の寄付金収入は14億3,300万円（前年度13億7,300万円）でした。奨学金や地区・世話クラブ・学友会への補助費など、事業にかかった費用は14億円で、前年度に比べて1億円増加しています。

2017年度決算（2017年7月1日～2018年6月30日）

収入(単位:百万円)

普通寄付金	特別寄付金	利子・配当収入	合計
428	1,005	121	1,555

支出(単位:百万円)

奨学金	その他事業	管理費	合計
1,168	237	50	1,455

### 4 寄付について

クラブから定期的に送金いただく「普通寄付金」と、個人・法人・クラブから任意でいただく「特別寄付金」があります。米山奨学事業は皆さまのご寄付だけで成り立っています。継続的なご支援をお願いします。

#### 普通寄付金

日本の全ロータリアンからの定期寄付で、各クラブで決定した金額×会員数分を半期に一度ご送金いただいています。

2017年度平均：4,797円

#### 特別寄付金

個人・法人・クラブからの、普通寄付金以外の任意寄付。

金額に決まりはなく、ロータリアン以外の方からもお受けします。

2017年度平均：11,271円

### 税制上の優遇措置について

米山記念奨学会への寄付金には税制上の優遇措置が受けられます。

ロータリー米山記念奨学会は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付金には、①所得税（個人）、②法人税（法人）の税制優遇が受けられます。また、③相続税も非課税となります。

#### ▶寄付金の「税額控除」適用法人です

2012年1月以降の寄付金から、従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のどちらか有利な方式を選択できるようになりました。

#### ▶普通寄付金分も申告用領収証を発行できます

クラブ事務局から会員氏名等のデータ提供が必要です。詳細はホームページをご覧ください。

## ① 個人が特別寄付をした場合（A or B で選択）

A. 税額控除 ～所得税額から直接差し引かれます～

(寄付総額-2千円) 上限は年間所得の40%	×40%＝	控除額 上限は所得税額の25%
---------------------------	-------	--------------------

B. 所得控除 ～（寄付総額-2千円）が所得から差し引かれます～

税額で見た場合、所得控除額×所得税率が税額からの控除額となります。即ち、

(寄付総額-2千円) 上限は年間所得の40%	×所得税率*＝	控除額
---------------------------	---------	-----

\*所得税率は課税所得額によって異なります。

課税所得	税率
330万円超～695万円以下	20%
695万円超～900万円以下	23%
900万円超～1,800万円以下	33%
1,800万円超～4,000万円以下	40%
4,000万円超	45%

従って、課税所得額が4,000万円以下の場合は、一般的には税額控除の方が有利となります。

（例）課税所得総額750万円の方が10万円を寄付した場合

A. 税額控除の場合 98,000円×40%＝39,200円 が税額から控除されます。

B. 所得控除の場合 98,000円×23%＝22,540円 が税額から控除される効果になります。

\*寄付金控除を受けるためには確定申告が必要です。

\*他の控除等により変動しますので、計算例は参考にとどめてください。

②及び③については「ロータリー米山記念奨学事業 豆辞典」をご覧ください。

## 5 よくある質問

Q 米山への特別寄付金には税制優遇が受けられますが、普通寄付金は対象外ですか？

A 普通寄付金にも申告用領収証を発行できます。ただし、クラブ事務局から会員氏名を当会指定の書式で送信いただく必要があります。詳細はホームページをご覧ください。特別寄付金については自動的に申告用領収証を発行し、翌1月下旬にクラブへお送りしています。

Q 普通寄付金も個人の実績に加算できますか？

A 個人実績は、当会においては表彰対象となる特別寄付金のみを記録しています。普通寄付金分も申告用領収証を発行することができるようになりましたが、特別寄付金とは別の取り扱いとなり、個人の実績には加算されません。

Q 他のロータリー関連で支援している外国人留学生との違いがわかりません。

A いずれのプログラムも、国際交流によって異文化への理解を促し、ロータリーの願う世界平和を追求するという点では一致しています。

#### ロータリー平和フェローシップ【ロータリー財団】

世界平和の実現を目指して、毎年 100 名までを選出し、全世界 7 校の大学に設置された 6 つの「平和と紛争解決における国際問題研究のためのロータリー平和センター\*」のいずれかで、修士課程または専門修了証プログラムに参加する資金を援助するもの。\*日本では国際基督教大学（ICU）

#### ロータリー奨学生【ロータリー財団】

グローバル補助金や地区補助金による奨学金を提供し、グローバル補助金では、6 つの重点分野（平和と紛争予防・紛争解決、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、経済と地域社会の発展）の専門家を育て、地区補助金ではそれ以外の分野の専門家を育てる。

#### 長期青少年交換学生【国際ロータリー】

高校生を主とした「異文化体験」「ロータリー親善大使」を目的とする 1 年間の高校留学とホームステイ。来日学生・派遣学生ともに毎年 100 人以上、全体では毎年 8,000～10,000 人の学生が参加。

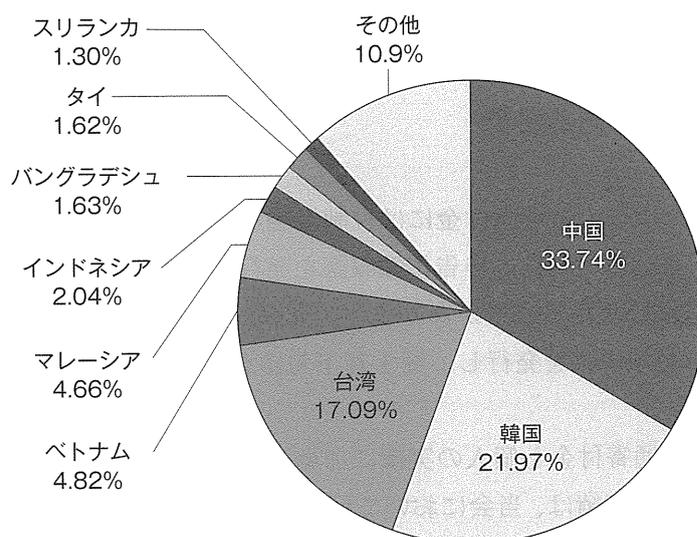
#### ロータリー米山奨学生【ロータリー米山記念奨学会】

上記 3 つとは異なり、日本独自の多地区合同活動として、在日外国人留学生の支援を行う（日本人留学生の派遣はない）。毎年約 700 人を超える留学生が採用され、日本のロータリアンとの交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育てる。

## 6 データでみる米山学友

### 出身国・地域別奨学生・学友割合（当初から 2018 学年度累計）

国籍	人数	割合 (%)
中国	6,881	33.74%
韓国	4,481	21.97%
台湾	3,486	17.09%
ベトナム	984	4.82%
マレーシア	950	4.66%
インドネシア	417	2.04%
バングラデシュ	332	1.63%
タイ	331	1.62%
スリランカ	266	1.30%
その他	2,268	11.13%
合計	20,396	100.00%



## 博士号取得学友数：3,671名

順位	出身	人数
1	中国	1,333人
2	韓国	1,315人
3	台湾	628人

## ロータリアンになった学友：231名

順位	出身	人数
1	台湾	80人
2	韓国	67人
3	中国	44人

※中国出身は中国以外の国で入会。

### 学友を中心に発足したクラブ

\*台北東海 RC (第 3480 地区)

加盟承認：1995年1月31日 例会：木曜 ※例会は日本語で行われます。

\*台中文心 RC (第 3460 地区)

加盟承認：2007年3月16日 例会：水曜 (夜間例会)

※例会は中国語で行われます。日本語対応可。

\*東京米山友愛 RC (第 2750 地区)

加盟承認：2010年3月16日 例会：水曜 19:30 (第 1・3・5) 土曜 10:30 (第 2・4)

\*東京米山ロータリーEクラブ 2750 (第 2750 地区)

加盟承認：2012年6月21日 例会：日曜 (ウェブサイト上で実施)

\*さいたま大空 RC (第 2770 地区)

加盟承認：2013年11月25日 例会：土曜 18:30 ※米山学友と R 財団学友により設立。

## 7 2018/7～2020/6 年度よねやま親善大使

2018年7月より、下記3人の学友が第3代「よねやま親善大使」として米山記念奨学事業の魅力を PR します。(但し、ボロルトヤさんの任期は2019年8月末まで)



エンフボルド, ボロルトヤ (ENKHBOLD, BOLORTUYA)

出身：モンゴル

奨学期間：2010-12 (山形大学)

世話クラブ：米沢 RC (第 2800 地区)

一言メッセージ：

米山学友のジャンチブ先生が作った新モンゴル高校出身でリケジョです。親善大使に選ばれたこの機会を通して、約2万人の米山奨学生を代表し、ロータリアンのみなさまたちに感謝の気持ちを伝えつつ、米山奨学事業の魅力を日本全国に発信していきながら、皆さまと楽しく交流して参りたいと思います。



アブデルアール、アハメド・マハムード・ムハンマド (ABDELAAL, AHMED MAHMOUDMOHAMED)

出身：エジプト

奨学期間：2013-15（関西大学大学院）

世話クラブ：大東中央RC（第2660地区）

一言メッセージ：

古代ギリシャの哲学者デモステネスは、かつて「偉大な仲間は、小さな機会から始まる」と言いました。私も、いただいたこの親善大使という機会をもとに、世界中に「米山さんが私たちをつくってくれた」ということを広め、偉大な仲間づくりに貢献していきたいです！



李英愛 (イヨンエ) (LEE, YOUNG-AE)

出身：韓国

奨学期間：2002-05（北海学園大学大学院）

世話クラブ：札幌幌南RC（第2510地区）

現所属クラブ：札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブ

一言メッセージ：

よねやま親善大使に選ばれて奉仕の機会を与えられたことに感謝しています。メールより電話が好きなアナログ人間です。北海道から日本各地を回る(rotate)ことがとても楽しみです。2年間お世話になります。

※各親善大使の紹介動画があります！

米山奨学会HP→米山奨学会紹介ビデオ→2015-16年度よねやま親善大使

## 8 奨学生の選考

地区の奨学生数はどうやって決まる？

1. 寄付金収入予測に基づき、全体採用数を決める。  
(2018学年度は743人。海外関係等の84人を除いた人数)
2. 全体採用数(743人)を下記4要素に分ける。
  - (1) 寄付金総額50% (372人)
  - (2) 個人平均寄付額30% (223人)
  - (3) 特別寄付者割合\*10% (74人)
  - (4) 有資格者数10%\*\* (74人)

\*特別寄付者割合とは、各地区における特別寄付者の割合を%で教示した数です。

\*\*有資格者数とは、各地区で米山奨学金に応募資格のある留学生のことで。

3. 各要素ごとに、地区の対全国比で人数を算出し、合計する。

$372 \times (1) \text{の割合} + 223 \times (2) \text{の割合} + 74 \times (3) \text{の割合} + 74 \times (4) \text{の割合} = \text{地区の割当人数}$

寄付を頑張った地区ほど、たくさんの奨学生を採用できます！

※2018年度の地区割当数は、2015-16年度の寄付実績をもとに算出しています。

### 奨学生の募集・選考方法

- 指定校から推薦された候補者を、各地区のロータリアンが面接選考します。
- 指定校は、地区選考委員会が決定します。
- 地区選考委員会では、奨学生としてふさわしい学生を推薦してもらうため、指定校説明会を開いたり、要望を伝えるなどの努力をしています。

## 選考スケジュール

- 7月 地区で指定校決定
- 8月 指定校・募集要項発表（HP掲載）
- 10月～11月 指定校からの申込期限（10月15日）（Web申込み）  
書類審査（奨学会）▶書類審査（地区）
- 12月～1月 地区にて面接試験実施（12月初旬～）
- 1月～2月 合格通知（地区からの報告順に送付）
- 4月 オリエンテーション

## 9 ホームカミング制度で学友を招待しよう！

ホームカミング制度は、元米山奨学生（学友）の里帰り制度です。活躍する学友を地区で毎年2人まで招待できます。地区大会などで現在の活躍を披露していただくことで、「寄付の成果が実感できる」と大変好評です。海外・国内在住いずれも対象で、他地区出身の学友でもOK！費用は米山記念奨学会から補助されます（上限あり）。

詳細は米山記念奨学会HPをご覧ください。<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>



米山も Facebook の公式サイトを持っています。皆様も Facebook を利用して情報交換し、仲間との交流を深めてください。

## 10 公益財団法人 米山梅吉記念館

米山梅吉記念館は米山記念奨学会とは別法人で、独自の理事会により運営されています。



公益財団法人 **米山梅吉記念館**  
Yoneyama Umekichi Memorial Hall



米山梅吉氏の遺徳を偲び、その偉業を顕彰することを目的として、昭和44年、静岡県駿東郡長泉町に開館された。館内は梅吉氏の生涯と日本のロータリーの歩みが展示されているほか、ロータリーの文献資料を備えている。

〈事業内容〉

米山梅吉記念館の運営／ロータリーの文献を蒐集、整理、保管／研修室の運営

URL (<http://yoneyama-umekichi.jp/00houshi.html>)

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩 346-1

Tel : 055-986-2946 Fax : 055-989-5101